

KSK すたこらさん

総会特集レポート 2022年度事業報告と2023年度事業計画

なつごう
2023 夏号



一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月五回(5・10・15・20・25日)発行

総会にあたり昨年を振り返る印象深い1枚。防災教育プロジェクトで岩手県を訪れた時に陸前高田の「奇跡の一本松」を前に撮ったもの。東日本大震災を11年後に肌で感じました。

こうどう しょうがいしゃおうえん
おおさか行動する障害者応援センター
やくいん しょくいん
役員および職員

り じ
理 事

さ さ き やす ゆき だい ひょう
佐々木 康 至 (代 表)
奥那嶺 つかさ (副 代 表)
氏田 祐 資 (会 計)
伊東 史 恵
笠原 由 紀 恵
北口 悦 子
北口 幸 男
下田 一 也
福本 千 夏
福島 義 弘
牧口 一 二
辻 郁 子
高 ち 秋

かん じ
監 事

ふく しま よし ひろ
福 島 義 弘
北口 幸 男
下田 一 也
戸田 俊 二郎

しょく いん
職 員

まつ い り え
松 井 里 江
坂 井 太 郎
高 島 義 幸
糸 井 麻 衣 子
森 澤 香 織
篠 原 鈴 音
谷 野 子
神 田 孝 次
じむきょくちょう (事務局長)
じぎょうしよ かんりせきにんしゃ (事業所サービス管理責任者)
じむきょくいん じぎょうしよかんりしゃ (事務局員・事業所管理者)
じむきょくいん じぎょうしよ (事務局員・事業所スタッフ)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん しゆにん (事業所専従職員・主任)
じぎょうしよ かんりせきにんしゃ (事業所サービス管理責任者)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん (事業所専従職員)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん (事業所専従職員)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん かんごしょくいん (事業所専従職員・看護職員)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん かんごしょくいん (事業所専従職員・看護職員)
じぎょうしよせんじゆうしよくいん (事業所専従職員)
じぎょうしよ かんごしょくいん (事業所スタッフ・看護職員)
じぎょうしよ (事業所スタッフ)

2022年度事業報告および決算

1. 教育研修事業
 - a) 講師派遣報告
 - b) ゆめ風中学生プロジェクト報告
2. まちづくり事業
3. 広報事業
4. グループ活動事業
5. 研修等その他活動
6. 作業所事業および生活介護事業
 - a) 作業所運営会議報告
 - b) 良返屋活動報告
 - c) ぜんかい屋活動報告
7. 2022年度 決算

KSKすたこらさん

1. 教育事業

1-a. 講師派遣事業

以下のおおと、講師派遣を行った。障害当事者が自らの体験を語ることに大きな意義がある取り組みである。

【神戸女学院大学へ講師派遣】

11月8日(火) 與那嶺先生の文献ゼミ (福島)

【エコモ・交通事業従事者接遇研修へ講師派遣】

今回は、参加人数を絞ったため、不参加。

1-b. ゆめ風プロジェクト報告

【柴島中学校の取り組み】

8月24日(火) 柴島中の先生と打ち合わせ(下田、福島、ゆめ風・阿部さんが出席)

2年生、50名を対象に実施することを確認した。

6月13日(月) 被災体験者の阿部さんによる講話

6月15日(水) 柴島中、事前講習

手と手とハウス 2名

応援センター 1名

ゆめ風基金 1名

6月17日(金) 避難訓練とまとめ

手と手とハウス 4名

応援センター 6名

ゆめ風基金 1名

まとめは、生徒と一緒に楽しめる〇×クイズを行った。

【摂津第二中学校の取り組み】

9月26日(月) 摂津二中の先生3名と打ち合わせ(下田、福島、ゆめ風・阿部さんが出席)

3年生、173名を対象に実施することを確認した。

12月1日(木)	せつつにちゆう しぜんこうしゆう 摂津二中、事前講習	
	て て 手と手とハウス	めい 3名
	おうえん 応援センター	めい 2名
	かぜききん ゆめ風基金	めい 1名
12月8日(金)	せつつにちゆう ひなんくんれん 摂津二中、避難訓練	
	て て 手と手とハウス	めい 6名
	おうえん 応援センター	めい 13名
	ぽぽんがぽん	めい 1名
	ほくせつ24	めい 1名
	こじん いばらきしざいじゆう 個人(茨木市在住)	めい 1名
	かぜききん ゆめ風基金	めい 1名

ちいきぼうさい
●地域防災プロジェクト

みずきこうこう いばらきけん みとし
【水城高校(茨城県水戸市)】

ふぶ めいたいしよう
インターアクト部 20名対象

9月23日(金) インクルーシブ防災教育ワークショップ

くるま こうしゃない
車いすで校舎内をバリアフリーチェック
だん ばこ つか かんい さくせい
段ボール箱を使って、簡易ベッドを作製

ちゆうがくせい たいしよう ちゆうがくせい こうこうせい ちが かん
ふだんの中学生プロジェクトは対象が中学生なので、高校生では違いを感じた。
じもと ひと ひと たいせつ たいせつ じぶん じもと
とくに地元での人と人とのつながりを大切にしたい、自分たちの地元でどういう取
り組みができるかという発言が多かった。自分たちが暮らす町への愛着を強く抱い
ていて、きもちが伝わってきた。水戸はバスが多いが、しょうがいしゃ かいご
一人を使っているようだ。



KSKすたこらさん

【大船渡中学校（岩手県大船渡市）】

3年生 50名対象

11月18日（金） 共生型社会の避難所を考える（インクルーシブ防災教育）

地元の障害者をまじえてパネルディスカッション

グループごとに校舎内をバリアフリーチェック

この地域では障害者がまちに出ること自体がまれなようで、電動車いすを初めて見た生徒も多かった。そこで電動車いすを持ち上げる体験などもしてもらった。

大阪から10時間以上かけて大船渡まで来たことにも驚いていた。

昔の障害者観が強く、学校卒業後は施設暮らしがまだ当たり前前のである。

施設は町から離れているとのこと。そこで大阪の話をしてもいいのかな…とためらいも感じた。大阪と事情が違いすぎてリアリティが湧かないかもと思ったが、せ

かくやって来たので大阪の現状をお話しさせてもらった。その地域の状況などを

知ることができ、貴重な体験と勉強になった。



【会議】

2023年3月24日（金）

防災教育プロジェクト会議（古山先生、ゆめ風・阿部さん、福島）

2. 交通まちづくり事業報告（交通まちづくり&障害者大阪連絡会議）

月1、2回、リモートによる担当者会議を開催

（部会の内容、対行政要求書作成及び戦術確認等）

5月、7月、9月、11月、1月、3月

障大連交通部会の開催、部会后、部会担当者会議の実施

毎月第四金曜日

障大連運営委員会へのリモートでの参加が多かった

その他、福まち条例改正検討部会の傍聴を一回した。（体調も良くない時期もあり）。その前後、条例関係の担当者レベルの話し合いがありました。

【大阪 関西万博について】

2年後、万博に向けた取り組みの一環として二年前から建築されてるホテルは福まち条例で客室がフラット（つまり、ユニットバス等を埋め式にする）になっており、そんなに問題はないが、交通機関が問題です。現在万博協議会が考えている主要駅からの直行バスは、ノンステップではなくリムジン型を考えているらしく、そうなれば車椅子利用者はメトロの延伸線しか使うことしかできなくなり、本町駅や堺筋本町駅が大混乱になる事が目に見えてきます。

【府立公園のバリアーについて】

一昨年から広域避難所でもある府立公園のバリアーの撤去に関わる社会実験を府下九つの公園で順番に行っていたが、管理事務所を委託している民間の事業所では昼は事務所に人間がいますが、夕方以降はバイクや自転車が入り込んで、周辺住民からの苦情をこわがっています。でも、広域避難所だけに誰一人、除け者にさせないようにしたいと昨夏の府交渉で回答していました。

バリアーの撤去に関わる社会実験が終了し、この春から管理事務所に人がおる時間帯のみ開放をするとともに、府としては周辺住民の理解をどうして得るかを考えていき、広域避難場所としての役割をいかに両立させるかを我々

を含む障害者団体との検討をしていきたいと思っています。

一方、大阪市立の公園（扇町、長居、うつぼ等）は、バリアーは設置しておらず、バイクや自転車が自由に入り込んでいるけど、スピードを出ささない工夫があります。扇町公園を例にいきますと、公園の中心部に窪みをつくって、窪みにおりるときにはスピードが出ますが、窪みから上がる時はスピードが落ちる仕組みで、窪みをさけて通るには窪みの周りを半周しないとイケません。

【3月18日開業のJR梅田新駅の件】

島式ホームが2つあり、4本の線路があるが、テレビで紹介されている移動式ドアは、はるかなどの関空和歌山向きのホームしかなかった。新駅ならばすべてのホームに移動式ホームドアを設置して当たり前だと思う。

JRが言うには大阪駅に新しいホームを作っただけで、新駅ではないとの返答であった。

しかし、JRとしては珍しくホーム改札口間や桜橋口との連絡通路のエレベーターは11人乗りのJスルーではなく24人乗りの立派なエレベーターが設置されていることに驚きを隠せないところです。

【生活介護の短時間利用減算について】

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で「新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第6報）」の問15で生活介護の短時間利用減算を適用しない取扱いをすることは差し支えないとなっています（令和2年10月7日時点での回答 現在もつづく）が、新規感染者が少なくなってきた今日、いつその処置が終了するかどうかわかりません。

しかし、先月8日付で感染症二類から五類に変更されたものの、九月いっぱいまでは短時間利用を認めますとお国が言ってるものの、決定権は大阪市なので時期等は、わからないのが現実です。

こうほういいんかいほうこく
3. 広報委員会報告

機関誌「すたらさん」は、年2回の発行であった。記事・原稿の書き手を作業所メンバーに担ってもらい、多様なものとなるよう編集に取り組むことを心がけた。次年度以降も継続しながら、発行回数年4回をめざしたい。

はっこうじょうきょう
【発行状況】

5月30日(木) 春号を発送 500部印刷、457部郵送
総会案内をかねて発送。

11月8日(火) 夏号を発送 500部印刷、455部郵送
総会特集号として事業報告書をかねて編集を行った。

かんていきょう
【関定協】

6月27日(月) 総会にZOOMで出席 (伊東、福島)

かつどうじぎょう
4. グループ活動事業

きたくじりつしえんきょうぎかい
【北区自立支援協議会】

5月17日(火) 第1回会議
7月22日(金) 第2回会議
12月22日(金) 第3回会議

2023年

3月17日(金) 第4回会議

はんばい きたくやくしよまえ
【エコかる販売 (北区役所前)】

4月13日(水) 出店 (店番を一瀬、吉田、福島で交代担当)
7月29日(金) コロナ感染拡大で出店を取りやめ
10月21日(金) 出店 (店番を一瀬、吉田、福島、南、糸井で交代担当)
12月9日(金) 出店 (店番を一瀬、吉田、福島、北浦、森澤で交代担当)

2023年

2月3日(金) 出店

にっちゅうかつどういいんかい
【日中活動委員会】

5月30日(月) ニューロリワーク梅田センター(就労移行支援事業所/自立訓練)

KSKすたこらさん

せいかつくんれん かいさい ふくしま
(生活訓練) で開催。(福島)

9月26日(月) アンサーベーシックキャンパス(自立訓練(生活訓練))で開催
きたぐち いたい
(北口、糸井)

2023年

1月30日(月) たけのこ(生活介護事業所)で開催。(福島)

たもくてき かいじょ せっち もと しよめい と く
【多目的トイレに介助リフト設置を求めるネット署名の取り組み】

11月1日(火) かいじょよう せいぞう はんばい かぶしきかいしゃ
介助用リフトの製造、販売メーカーである株式会社モリトーとZOOM
ミーティングを開催(モリトー2名、近藤、西田、福島)

12月23日(金) おおさかしゃかいふくししどう てんじかいじよう だい かい め
大阪社会福祉指導センター展示会場でモリトーさんと第1回目
かいごう
会合

2023年

1月31日(火) ぜんかい屋でモリトーさんと第2回目会合

2月24日(火) ぜんかい屋にモニター用リフトをモリトーさんが設置

3月14日(火) ぜんかい屋でモリトーさんと第3回目会合

おに
【鬼コンテスト】

2月1日～7日 きたくやくしよげんかん くみん かいさい
北区役所玄関の区民ギャラリーにて開催

さくねんどうよう せつぶん さくひんてん かいさい ことし きたく まも おに
昨年同様、節分にちなんだ作品展を開催。今年は「北区を守る鬼」
をテーマとして各事業所から出展された。ぜんかい屋からもオリ
ジナルストーリーをかんがえてそのストーリーにあったジオラマをせいさく
した。ストーリーはすたこらさんに掲載したので、ぜひご覧ください。

けんしゅうなど た かつどう
4. 研修等その他の活動

とく じっし
特に実施できなかった。

●^{たいおう}コロナ対応

【^{かき}夏季】

7月^{がつ}11日^{にち}（1名^{めい}）、19日^{にち}（1名^{めい}）、22日^{にち}（2名^{めい}）の感染者^{かんせんしゃ}がぜんかい屋^やで発生^{はっせい}確認^{かくにん}。クラスタ^{にんしき}ーと認識^{にんしき}して7月^{がつ}23日^{にち}からぜんかい屋^やを閉所^{へいしょ}する。その後^{あと}も感染^{かんせん}確認^{かくにん}が相^{あい}次^{つぎ}ぎ、別^{べつ}ルート^{りゆうてい}での濃厚^{のうこう}接触^{せつしよく}者^{しゃ}も複数^{ふくすう}発生^{はっせい}したため、ぜんかい屋^やの全面^{ぜんめん}的^{てき}な活動^{かつどう}再開^{さいかい}はお盆^{ぼん}休み^{やすみ}明け^{あけ}の8月^{がつ}17日^{にち}となった。

一方^{いっぽう}、良返^{りょうがえ}屋^やでも8月^{がつ}21日^{にち}に感染者^{かんせんしゃ}が発生^{はっせい}。月末^{がつまつ}31日^{にち}まで閉所^{へいしょ}して活動^{かつどう}を自粛^{じしゆく}した。

結局^{けっきよく}、この期間^{きかん}にぜんかい屋^やと良返^{りょうがえ}屋^やで9名^{めい}が感染^{かんせん}。感染^{かんせん}ルート^{かんとん}は作業^{さぎ}所^{じょ}内^{ない}に限^{かぎ}らずそれぞれ^{それぞれ}の家庭^{かてい}内^{ない}感染^{かんせん}なども複数^{ふくすう}発生^{はっせい}した。オミクロン株^{かぶ}のすごさ^{すごさ}を実感^{じつかん}した夏^{なつ}となった。

後遺^{こういしやう}症^{しやう}に苦し^{くる}んだ人^{ひと}も数名^{すうめい}いたが、幸^{さいわ}いにも重症^{じゆうしやう}化^かにいたった人^{ひと}はおらずホッとした。

【^{とうき}冬季】

12月^{がつ}27日^{にち}（1名^{めい}）、28日^{にち}（1名^{めい}）、2023年^{ねん}1月^{がつ}8日^{にち}（1名^{めい}）、1月^{がつ}9日^{にち}（1名^{めい}）、1月^{がつ}12日^{にち}（1名^{めい}）の感染者^{かんせんしゃ}がぜんかい屋^やで発生^{はっせい}確認^{かくにん}。年末^{ねんまつ}年始^{ねんし}にかけて落ち着^{おち}きのないぜんかい屋^やとなった。その後^ごは感染者^{かんせんしゃ}は発生^{はっせい}せず、落ち着^{おち}きを取り戻^とした。



ちいききよてん じぎょうほうこく さぎょうしょじぎょう せいかつかいごじぎょう
6. 地域拠点づくり事業報告 (作業所事業および生活介護事業)

さぎょうしょうんえいかいぎほうこく
6-a. 作業所運営会議報告

かいぎかいさいにちじ
1) 会議開催日時
じっし
実施できず。

こうせい
2) 構成
りょうさぎょうしょ かつどう いしけつてい せきん お さぎょうしょうんえいいん
両作業所のすべての活動について意志決定の責任を負う作業所運営委員。
じっし
実施できず。

ねんど と く
3) 2022年度の取り組み

◇ メンバー・スタッフ

しんメンバーの受け入れは次のとおり実現した。

2022年6月より週1日利用1名(区分2)

2022年10月より週1日利用1名(区分6)

◇ グループ内の協力行事・業務の相談

な い きょうりょくぎょうじ ぎょうむ そうだん
ゆめ風中学生防災プロジェクトへの参加と機関誌「すたこらさん」の
へんしゅう はっこう と く
編集・発行などについて取り組んだ。

◇ モニタリング会議

じぎょうしょ りょう こべつしえん かた はな あ ずいじ
事業所を利用するメンバーの個別支援のあり方について話し合いを随時
おこな せいかくじょう や りょうがえや こべつ かいぎ び せつてい
行った。その性格上、ぜんかい屋、良返屋ともに個別に会議日を設定し
しえん きばん つく こべつしえんけいかく みなお ひょうか つと
支援の基盤を作っていくように個別支援計画の見直しや評価に務めた。

りょう しょうがいしゃそうだんしえん れんけい
メンバーそれぞれが利用している障害者相談支援センターとの連携や
きょうりょく か たんとうしゃかいぎ そうだんしえん どう
協力は欠かすことはできず、ケア担当者会議や相談支援モニタリング等
てきぎ さんか
にも適宜に参加した。

かたいさく
4) コロナ禍対策

7月25日～29日 ぜんかい屋感染者多数で臨時閉鎖、訪問支援も行えなかった

8月1日～5日 ぜんかい屋部分的に開所

8月22日～31日 感染者発生と濃厚接触のため良返屋臨時閉所

じたん じさりょう けいぞく
【時短、時差利用の継続】

ぜんかい屋…14時30分を区切りに、前半組と後半組にわかれて活動

りょうがえや じ じ たんじかんりょう かつどう
良返屋…12時から15時までの短時間利用で活動

6-c. ぜんかい屋 2022年度の報告

コロナ状況が3年目になり、利用時間の制限(前半組・後半組に分けての利用)、活動の制限(外出・外食・会議・行事・外部との交流等の制限)が継続した。

前年度以上にメンバー・スタッフの中にも感染や濃厚接触者が何度も出て、ぜんかい屋の利用やスタッフの出勤が一時的、あるいは部分的にストップすることがしばしばであった。特に7月から8月にかけては、感染者が連続し、入院や施設入所、閉鎖・一部訪問支援への切り替えなどの事態に陥った。秋には少し状況が改善し久しぶりに行事なども実施できたが、年末・年始にかけても感染者が出て、いつ誰が感染するかわからなく安心できない状況が続いた。

症状が軽いにもかかわらず、感染するとヘルパーのサービスが受けられず、軽度の為に入院もできないという状況が何度か発生したのが大変だった。最終的には、保健所に掛け合っ入所できる施設が何とか決まったが、入所した人にとっても、支援側にとってもなかなかの苦勞であった。

前々年度新メンバー4名に続き、新メンバー2名が加わり、財政面での赤字は解消されてきた。

ただ、メンバーが増え、コロナ状況への対応などもあり支援量が増えた中で、スタッフの補充ができないことが課題であったが、年度末までには必要なスタッフ体制がなんとか確保できた。

移転については、良い物件が見つけれず進んでいないのが実情だ。

ここ数年目立つ、メンバーの高齢化や健康の不安定化、ヘルパーさん不足等による生活環境の問題も、コロナ状況も相まって続いているが、相談支援をはじめ連携機関や各種事業所と協力し、できる範囲での努力をすることはできた。

コロナ状況もあるが、年間通じて余裕がなく、メンバーを交えての会議、スタッフの定期面談、研修などができなかった。

1) 財政

メンバーが少し増えスタッフが減った状態でやりくりした結果、赤字なく運営できている。

KSKすたこらさん

2) メンバー (敬称略) (2023年3月現在)

メンバー2名の増員があった。

【契約利用登録メンバー】

きたぐちえつこ しんたい だいひょう たきやまかずや しんたい ふくだいひょう こんどうじゅんこ しんたい たきやまり か
北口悦子 (身体 代表)、瀧山和也 (身体 副代表)、近藤順子 (身体)、瀧山利加
しんたい やながわふくみ せいしん つだともこ しんたい ほりえたけし しんたい ちてき ちようきにゆういんちゆう
(身体)、柳川福美 (精神)、津田智子 (身体)、堀江健志 (身体 知的 長期入院中)、
きたうらがずのり しんたい ほりえゆうすけ しんたい ちてき むらかみあきら しんたい いとうふみえ しんたい
北浦和則 (身体)、堀江勇介 (身体、知的)、村上晃 (身体)、伊東史恵 (身体、
知的)、エイチ アイ しんたい いちせひろゆき ちてき かきもとひとし しんたい たかながひろあき しんたい
ちてき エイチ アイ しんたい いちせひろゆき ちてき かきもとひとし しんたい たかながひろあき しんたい
南勝実 (知的 2022年6月より)、小杉勇太 (身体 2022年10月より)

【利用メンバー】

かなざわのぶゆき しんたい ではししんすけ ちてき ねん がつちようきにゆういんちゆう びよういん たいいん
金沢伸行 (身体)、出橋申輔 (知的 2022年4月長期入院中の病院を退院。グル
ープホームへ入所、日中は別の生活介護事業所を利用)

3) スタッフ (敬称略) (2023年3月現在)

かんりしや きたぐちゆきお
管理者 …… 北口幸男

かんりせきにんしや ふくしまよしひろ と だしゅんじろう
サービス管理責任者 …… 福島義弘、戸田俊二郎

せいかつしえんいん じようきん さかいたろう よしだ まい ねん がつたいしよく
生活支援員 (常勤) …… 坂井太郎、吉田茉衣 (2023年3月退職)

たかしまよしゆき がつ いくじきゆうかちゆう
高島義幸 (11月～育児休暇中)

いとまい こ かんごし がつ もりざわかおり かんごし がつ
糸井麻衣子 (看護師 7月～)、森澤香織 (看護師 8月～)

しのはらすずね ねん がつ
篠原鈴音 (2023年3月～)

せいかつしえんいん ひじようきん とりい みよ こ かんごし ねん がつていねんたいしよく
生活支援員 (非常勤) …… 鳥居美代子 (看護師 2022年8月定年退職)

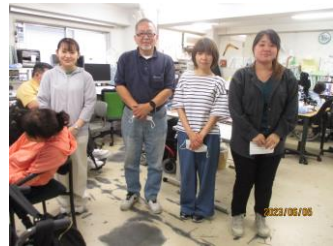
しもだかずや がつ しょうびようきゆうかちゆう
下田一也 (11月～傷病休暇中)

かんだこうじ はけん がつ
神田孝次 (派遣スタッフ 11月～)

いたくきょうりょくい もりたまさひろ いし
委託協力医 …… 森田昌宏 (医師)

ほか しゃかいほけんろうむし まつもとしんじし ぎょうせいしよし かげやまさたけし ぜいりし あきおかやすしし
他に、社会保険労務士 松本晋治氏、行政書士 蔭山正剛氏、税理士 秋岡安氏

のサポートを受けている。



4) 応援者 (ボランティア)

しょうぎ かた めい しゅう かい
将棋ボランティアの方1名 (週1回)

5) 主な作業・活動

・手芸、工作

さをり織り・ミシン・手縫い・草木染など。手芸が得意なスタッフの補充ができていないので、簡単なものを少しずつ。自分や家族で使うものや「ECOかる」、「山西福祉記念会館」などで販売するものを制作した。「鬼コンテスト」に出展する為、みんなで紙作品を作成した。



・パソコン作業

すたこらさん編集、名刺印刷（限定受注）、請求事務や会計伝票・日報の打ち込み、文章作成、調べ物など。

・園芸

作業所付近で草花の育成と美化・清掃。大阪市サポートの園芸ボランティア「北区種花の会」より花の苗の定期提供を受けている。中心メンバーの柳川さんと一緒に、他のメンバー・スタッフも参加する機会が増えてきている。



・文芸

詩の創作・行事のレポートや自伝など。

・将棋

ボランティアさんの協力の元、楽しみつつマイペースでレベルアップに努めた。「ぜんかい屋杯」のリーグ戦も実施した。将棋をする人が前年度より増えた。

・運動、リハビリ

ダイエットや機能維持を目的として、簡単にできる足上げや立位や固定のり

KSKすたこらさん

あるさんぼ
ハビリ、歩いたり、散歩
くるまじそう
したり車いすで自走
うんどう
したりといった運動を
けいぞく
継続した。



・その他

カードゲーム、オセロ、ハサミ将棋、パソコン、スマホゲーム、動画、アニメ鑑賞など実施。まち歩き外出活動（ぶらぶら活動）はコロナの為自粛。

・広報

すたこらさん作業所通信。イオン野田阪神店での黄色いレシートキャンペーンPR活動。ホームページの運営。メンバーの金沢さんが、入院や体調不良もありほとんど通所できない中、在宅ワークでホームページを日々更新管理を頑張ってくれている。（<https://www.npo-o-center.com> グーグルなどで「ぜんかい屋」検索で見れます。）

・イオン黄色いレシートキャンペーン（イオンPR）

コロナ状況の改善とともに復活し32,100円の物品贈呈を受けた。



・「大阪ハートフル商店街」

市の「障害者支援施設製品販売促進支援事業」の一環でのインターネットショッピングモール。

・「ECOかる」

手芸品販売。

・作品展への出展

日本財団の作品展に伊東史恵さんが絵画「菜の花」で応募。残念ながら1次審査は通過できなかった。

こうしはけん
・ 講師派遣

ゆめ風基金の柴島中、摂津二中の中学生プロジェクトに参加協力。



せいかつそうだん
・ 生活相談、サポート

作業所および作業所以外の生活にかかわる部分も含め相談。

「Flat・きた」との特定のメンバー4名のモニタリングケース面談は、月一回実施。北区の「ケアサービスダンデライオン」との特定のメンバー1名とのモニタリングケース会議や相談も月一回実施。もう1名も適宜実施。コロナの為ZOOMも活用しリモートで行うことも多かった。他に必要に応じて「Flat・きた」、「ダンデライオン」、北区の「よろこび」、淀川区の「えんじょい」などの事業所やヘルパー派遣事業所と担当者会議や相談を実施。役所担当者やヘルパー派遣事業所との連絡や相談などもサポートした。

けんこうそうだん
・ 健康相談、サポート

定例（月一回）の協力医師による健康相談、看護師スタッフによる日常的健康チェック・相談・薬の管理、医師とのコミュニケーションのサポート（受診同行サポート）、訪問口腔ケア（週一回）、コロナワクチンの予約・摂取などのサポートなどを実施。訪問看護やリハビリを利用するメンバーさんも増えており、訪問看護事業所との連携機会も多かった。

けんしゅう べんきょうかい
・ 研修、勉強会など

内部研修、講座・研究会などの実施・参加はできなかった。

しゃりょう
・ 車両について

コロナ対応の為、送迎の回数が増えている。1台は老朽化が進んでいるので修理が多かった。前年度に続き、送迎中事故が複数回あった。再発防止と安全運転の徹底に努めたい。

こうきょう
・ 公共トイレに介助用リフト設置を目指す活動

メンバーの近藤順子さんの願いを実現化するために始まったプロジェクト。

ウェブ署名活動を始め、リフトメーカーの「株式会社モリトー」さんにもつなげてくれた元職員の西田さんが退職後も携わってくれている。(詳細はすたこらさん 2023春号記事を見て下さい。)

6) 主な外出イベント・行事

今年度もコロナのために外出をはじめ、イベントは制約を受けた。

コロナ状況が小康状態であった秋に少人数単位でイベントを複数回に分けて実施できた他、今年になって3年ぶりに復活し招待を受けた「いずみホールコンサート」にみんなで行けた。

4月～5月 特になし

6月 柴島中ゆめ風避難訓練

7月 特になし

8月 長年入院をよぎなくされていたが4月に社会復帰した出橋申輔さんが20年ぶりにぜんかい屋に来てくれました。(その後も2回来所)

9月 H・Iさん企画イベント「手ざわり」(箱の中身を手の感触のみで当てるゲーム)

10月 特になし

11月 万博公園バーベキュー(2回)、六甲牧場、琵琶湖バレイ、淡路島(2回)、エスコヤマ、京都着物体験

12月 ゆめ風摂津二中避難訓練

1月 特になし

2月 「鬼コンテスト」出展

いずみホールクラシック音楽コンサート

3月 大川へ花見





7) 前年度目標の評価

○コミュニケーションを大事にする。

コミュニケーション不足の部分を改善できるよう日常的に工夫・努力する。

そのために会議や面談、研修も実施する。

→ 問題発生時等に必要に応じて相談や面談は行ったが、定例のスタッフ面談や新スタッフ対象の研修など本来すべきことで、できなかったことが多かった。

○心身の健康向上に努める。

コロナ感染には引き続き気を付ける。一方でコロナ対策優先で見落としや優先順位の間違いないように気を付ける。

→ 心身の体調を崩す人が多かった、健康を優先に動くことが多かったが健康向上には遠かった。コロナ感染には振り回され、その都度の判断は難しかった。

○作業所以外の生活も含め生活面の環境向上を作業所のできる範囲でサポートする。

相談支援事業所等との連携も引き続きしっかりと。

→ 実施できた。コロナ対応や新メンバー受け入れなどでも大変お世話になった。

○地域・外部との連携・協力・交流に努める。

コロナ状況に甘んじることなく取り組む。

→ あまりできることがなかった。

KSKすたこらさん

○障害者運動（行政などへの働きかけ）に関する活動への参加も増やす。

コロナ状況に甘んじることなく北口幸男氏以外の人の参加を増やす。

→ ほとんどできなかった。

○経営黒字をキープする。

→ キープできた。

○作業所の物的・人的な環境の改善を行う。

スタッフ、特に女性スタッフの補強をする。

定年退職予定の看護師スタッフの後任を早急に採用する。

スタッフ各位のレベルアップ、連携強化。

支援が偏らないよう、良いバランスとバリエーションを心がける。

手狭な作業所の快適化。より広いスペースへの転居も視野に。

→ スタッフ採用には苦労した。後任がなかなか見つからず定年退職のスタッフ

さんには退職を2か月も待ってもらい迷惑をかけた。退職者や休業者が出た

が派遣会社活用と新採用の求人年度末にはようやく体制ができた。

支援の充実とバランスは今後も課題。スペースについては進展なし。

○長期欠席者・入院者の社会復帰に向けて作業所としてできることをする。

→ 20年前に入院し社会復帰できていなかった出橋申輔さんが、相談支援とグループホームの支援で2022年の4月から地域生活に移行できるようになった。困難を乗り越えつつ1年過ごすことができ、実家とぜんかい屋にも3回来ることができた。

作業所に来るのが難しい金沢伸行さんは自宅でホームページ運営で活動に参加してもらっている。

長期入院中の堀江健志さんには、コロナ状況で制約があるが2回程面会できた。



しょうがいしゃ きげんき さんかど ふ さぎょう かつどう じゅうじつ
○障害者メンバーのやる気・元気・参加度をできるだけ増やし、作業・活動の充実
つと
に努める。

しょうがいしゃ しゅたいせい じゆう そんちよう いし いよく く と しっぱい ふく
障害者メンバーの主体性・自由を尊重し、意思、意欲を汲み取り、失敗も含めて
じぶん けいけん えがお す ほど よく よ そ ささ
自分の経験ができるよう、笑顔で過ごせるよう、程よく寄り添い支えるサポートを
こころ
心がける。

→ スタッフ体制もコロナ状況も少しずつ変わってきた。いろいろな個性が共存
しつつ、目標を少しずつ実現化できるよう引き続き取り組んでいけたら…。



KSKすたこらさん

7. 決算報告

決算案について

今年度決算での正味財産の増減額は277万円となっている。
税法上における累積の欠損赤字額は351万円となっており、法人税の支払いは均等割りの7万円となった。なお、2023年度の決算が仮に黒字の場合、その額が351万円未満であれば法人税は均等割りとなる予定。

黒字を維持できた要因としては、年度途中から利用が2名増えたことが考えられる。毎日フル利用されるわけではないが増収となっている。加えてベースアップ等支援加算が新設された。結果、生活介護費収入は2年続けて5千万円超となった。

支出科目でその他事業費が71万円となっているが、これは育休の補助スタッフとして人材派遣会社を利用した費用である。



ねんどじぎょうけいかく よさんあん
2023年度事業計画および予算案

ねんど じぎょうけいかく
2023年度の事業計画にあたって

1. 教育研修事業
きょういくけんしゅうじぎょう
a) 講師派遣計画
こうしはけんけいかく
b) ゆめ風中学生プロジェクト計画
かぜちゅうがくせい けいかく
2. まちづくり事業
じぎょう
a) まちづくり事業全般の活動目標
じぎょうぜんぱん かつどうもくひょう
b) 障大連・交通部会における取り組み
しょうだいれん こうつうぶかい とくく
c) 基本構想の見直しについて
きほんこうそう みなお
d) トイレにリフトをつける会（ネット署名活動から展開）について
かい しょめいかつどう てんかい
3. 広報事業
こうほうじぎょう
4. グループ活動
かつどう
5. 研修等その他活動
けんしゅうなご た かつどう
6. 地域拠点づくり事業（生活介護事業）
ちいききよてん じぎょう せいかつかいごじぎょう
a) 作業所運営会議計画
さぎょうしょうんえいかいぎけいかく
b) 良返屋計画
りょうがえやけいかく
c) ぜんかい屋計画
や けいかく
7. 2023年度 予算案
ねんど よさんあん

2023年度の事業計画にあたって

○センター事業について

新型コロナウイルスの扱いが5類に引き下げられたこともあり、応援センターとしても少しずつ活動の制限を緩めていきたいと考えている。どのくらいの範囲で制限を緩めるかについては、様子を見ながらその場その場での判断になっていくことになると思うができるだけ今までの窮屈さを取り払っていきたいと思う。今まで控えてきた外出活動や対面での取り組みが少しずつやりやすくしていきたい。

○財政面について

2022年度は黒字決算であったが余裕のある安定した財政状況には到達できていない。赤字解消のためメンバーの増員を目標の一つに取り組んでいて一定の成果はあった。一方で人が増えるということは物理的に今の建物ではとても手狭になってきている。時間帯によっては車いすで自由に移動しづらい時もある。そしてトイレ渋滞になるときもある。そのような状況を目にすると、早くもうちょっとだけ広い物件を見つけて引越したいと感じてしまう。物件探しを少しずつ進めてはいるのだが、北区内で今より広い物件となると家賃は少なくとも現在の倍以上は覚悟しないとイケない。今の財政状況ではそれは無理がある。今年度も大きな課題である。

○スタッフ体制について

スタッフについてもメンバーが増えたらそれだけ手薄になる時もある。昨年は入れ替わりもあったが、人材派遣などいろいろなツールを使うことでしのいできた。スタッフの働きやすさとメンバーの満足した利用の両面を達成していくためにはもう少し人材確保が必要と思われる。さきほどの物件同様に引き続きの課題である。

1. 教育研修事業の計画

1-a. 講師派遣事業

今年度は高槻市内の小中学校のPTAが開催するオータムフェスタへの派遣依頼が届いている。はじめての依頼なので打ち合わせを今後数回重ねて実施に向けた準備を進めていこうと考えている。手と手とハウスにも協力をお願いしている。

あとは大学等から例年の依頼があるかどうかは今のところはっきりしていないので、予想されるものと考えておく。少しでも障害者の実生活については話ができる機会を持てるように調整を考えていきたい。障害者を取り巻く社会の実情などについて理解を促す貴重な機会である。

今年度予想される派遣依頼は次のとおり
 ・大学等

1-b. ゆめ風中学生プロジェクト

今年度も現在のところ例年通り柴島中学校と摂津二中の実施方向であることは確認済みである。秋以降の実施になる見込みである。

また、昨年度から協力者として関わっている「防災教育プロジェクト」には引き続き参加していく。具体的には、中学生プロジェクト実施の際に実施前と後にアンケートを実施して、生徒たちのいろいろな意識の変化などについて調査研究をおこなう。昨年も摂津二中でアンケート調査をしているのでその結果がまとまったら早稲田大学の古山先生が摂津二中で報告会を考えられている。また、協力した応援センターや手と手とハウスの関係者向けの報告会も別日程で行おうという話も出ている。詳しくは今後検討していく予定である。

この「防災教育プロジェクト」は今年度も大阪以外での実施を考えている。その地域ならではの特徴があるため障害者自身が出向いていくこと自体に意味があるように感じている。

2. まちづくり事業計画

a. まちづくり事業全般の活動目標

今後も、『ホーム上の安全対策』や『快適に目的地に行くことができるまちづくりを』、『より快適な公共施設』を、モットーに取り組みたい。

区自立支援協議会が中心となって、約20年ぶりに基本構想の見直しをやる地区も見られ、基本構想策定時と梅田、なんばや天王寺の街が大きくかわっていることについても見直しを大阪市もやろうとしているが・・・

b. 障大連・交通部会における取り組み

今年度も、2022年度とほぼ同じスケジュールで、引き続き zoom会議が中心となると思われる。北口幸男を派遣し、障大連・交通部会の活動に参加していく予定である。ただし、zoomのリモートは北口以外でも逆に参加しやすい状況でもあり、学習会などにも気軽に参加できる。これを機に作業所メンバーの参加についても声掛けを行っていく。

c. 基本構想の見直しについて

二年後の万博に向けて大阪市も重い腰を上げて、この二年間で主要駅を中心とした基本構想の見直しに取り掛かろうとしています。都市計画局の準備会議には、障大連は入っておらず形だけの見直しに終わってしまう可能性があります。

特に梅田地区は、20年前と街は大きく変化してきており、変なところにエレベーターがあつたり、地下でつないだほうがいいのに一旦地上に上がるようにしていることもあり、まだまだバリアフリーなまちにはほど遠いのが現実である。

今年度は、各地の基本構想についての学習会やまち歩きをしようとしているので、作業所のメンバースタッフの参加も考えていきたい。今後、北区自立支援協議会などで成果を発揮できればいいと考えている。

★交通バリアフリー基本構想見直しについての動きを障大連交通部会・石田さんに寄稿いただきました。本誌61ページより掲載しています。


d. トイレにリフトをつける会（ネット署名活動から展開）について

2021年の夏から地道に活動をしていたネット署名をきっかけに、リフト製作メーカーの株式会社モリトーとご縁ができて活動を展開することになった。活動をすすめるプロジェクトの名称を「トイレにリフトをつける会」と名付けることに決定。多目的トイレがあってもトイレに移乗できない人にとってはその役割や意味を持たない。その現状を世に訴えて多目的トイレに介助リフトの設置を行政に要望するのがネット署名の目的である。



モニター用としてトイレに据えつけた固定式リフト（上の写真2枚）

移動できる床走行式リフト。これと同形式のリフトをぜんかい屋での外出時には持ち運んでいる。



インターネット署名は、QRコードから可能です。趣旨に賛同いただける方は、ぜひよろしくお願います。

こうほういいんかい けいかく
3. 広報委員会の計画

こ数年、「すたこらさん」が2～3回の発行にとどまっているため、なんと
か年4回の発行をめざして編集に取り掛かる。引き続き紙面づくりは、事務局と
ぜんかい屋、良返屋での近況や、メンバーの個性を感じることでできる内容を
めざして編集に取り組んでいきたい。印刷は引き続き良返屋でやってもらう。
発送作業はぜんかい屋メインとして、その時々によって余裕のありそうな場所で
できればいいと考えている。

かんていきょう かんけい
【関定協との関係】

はっこうけいひ ぶすう へんどう はっこういっかい ふたんきん えんていど
発行経費…部数によって変動（発行一回につき、負担金3,000円程度）
ゆうびんきょく ていきちょうさ かろう きょうりょく
郵便局の定期調査に可能なかぎり協力していく
そうかい さんか よてい
総会への参加を予定している

かつどう
4. グループ活動

がいしゅつじ おおにんずう ぎょうじ しょくじ かつどう せいやく ゆる
外出時や大人数でのイベントや行事、食事をともなう活動の制約を緩めるこ
とができそうなので、今まで自粛していた活動に取り組んでいきたい。もちろん
コロナ対策は重要で怠ることのないようにどうやったらイベントや外出を楽
しむことができるのか考えて実施する。
きたくやくしよまえ おこな じしゅせいひん そくばいかい エコ
北区役所前で行われている自主製品の即売会「ecoかる」へのかかわりは継続
していく。

また、北区自立支援協議会と日中活動委員会に参加して積極的に発言するよ
うにする。当事者団体としての意見をしっかりと意識して発信するように努める。

けんしゅうとう た かつどう ないぶ けんしゅう
5. 研修等その他活動（内部研修）

さくねんど ないぶけんしゅう じっし こんねんど じっし
昨年度も内部研修を実施できなかったのですが、今年度はできるかぎり実施でき
るように努力したい。また、事業内容・活動にプラスになるような外部で開催さ
れる研修会にも積極的に受講参加していけるようにはたらきかけていきたい。

6. 地域拠点づくり事業計画（生活介護事業）

6-a. 2022年度 作業所運営会議計画

コロナ禍以前のような取り組みができるか不透明であるが、その必要性や会議のあり方そのものからあらためて考え直していくようにしたい。以下は参考までにコロナ禍前に行っていたときの概要である。

- ◇ 月一回のペースでの会議の定例開催を実行する。運営上の重要事項の相談・決定や、問題・悩み・トラブルの発見・共有・解決に向けての話し合いに努める。この会議で結論がでない案件については、応援センター運営委員会に提議して解決に向けて討議していく。

【会議日日程（予定）】

- ◇ コロナ対策として2020年度から実施できておらず、問題共有にも支障が感じられるので会議再開を検討する。
- ◇ 生活介護事業について制度運用のうえで必要となる人的・制度的・金銭的な重要事項や理念・ミッションについて話し合いを深めていく。
- ◇ 運営会議がフォローアップするもの
 - ・スタッフ会議（個別支援の共有、スタッフ間のコミュニケーション促進）
 - ・合同連絡会議（ぜんかい屋、良返屋の事業所間での連絡調整）
 - ・メンバーの個人面談（週に一人程度。個別支援計画の作成、見直しの基礎的リサーチ）
 - ・スタッフの個人面談（年間で一人一回以上）
- ◇ グループ内の協力行事・業務や研修について具体的な実施につながるよう努める。
- ◇ 事業推進におけるコア会議
 - ・モニタリング会議（個別支援計画の新規作成、見直し、評価を行う）
- ◇ 検討課題とビジョン
 - ・安定した財政を維持するための努力
新規利用者の受け入れ
 - ・65歳問題に備えた対応策の検討と実際の取り組み
 - ・ぜんかい屋の物件探しとゆめのたね融資による資金調達の準備

6-c. ぜんかい屋 2023年度の目標・計画

○コミュニケーションを大事にする。

かいぎ めんだん けんしゅう じっし
会議や面談、研修も実施する。

しんしん けんこうこうじょう つと
○心身の健康向上に努める。

かんせん ひ つづ き つ
コロナ感染にも引き続き気を付ける。

さぎょうじょいがい せいかつ ふく せいかつめん かんきょうこうじょう さぎょうしょ はんい
○作業所以外の生活も含め生活面の環境向上を作業所のできる範囲でサポートする。

そうだんし えんじぎょうしよなど れんけい ひ つづ
相談支援事業所等との連携も引き続きしっかりと。

ちいき がいぶ れんけい きょうりよく こうりゅう つと
○地域・外部との連携・協力・交流に努める。

じょうきょう み
コロナ状況を見ながら。

しょうがいしやうんどう ぎょうせい はたら かん かつどう さんか ふ
○障害者運動（行政などへの働きかけ）に関する活動への参加も増やす。

けいえいくろじ
○経営黒字をキープする。

さぎょうしよ ぶつてき じんてき かんきょう かいぜん おこな
○作業所の物的・人的な環境の改善を行う。

かくい れんけいきょうか
スタッフ各位のレベルアップ、連携強化。

しえん かたよ よ ころ
支援が偏らないよう、良いバランスとバリエーションを心がける。

てざま さぎょうしよ かいてきか てんきよさき さが
手狭な作業所の快適化。転居先も探す。

ちようきけつせきしや にゅういんしや しゃかいふつき む さぎょうしよ
○長期欠席者・入院者の社会復帰に向けて作業所としてできることをする。

しょうがいしや き げんき さんかど ふ さぎょう かつどう じゅう
○障害者メンバーのやる気・元気・参加度をできるだけ増やし、作業・活動の充実に努める。

しょうがいしや しゆたいせい じゆう そんちよう いし いよく く と しつぱい ふく
障害者メンバーの主体性・自由を尊重し、意思、意欲を汲み取り、失敗も含

じぶん けいけん えがお す ほど よ そ ささ
めて自分の経験ができるよう、笑顔で過ごせるよう、程よく寄り添い支えるサポートを心がける。

◇ 個人の目標 メンバー

エイチ アイ …… 無理をせず、自分らしく充実した人生を謳歌したい。もっとたくさん手芸商品を作ってバザーに出してみたい。

いちせ ひろゆき …… がんばります！お散歩が好きです！糸井さん、森澤さん、篠原さんと行きたいです。ゆめ風訓練、柴島中と摂津二中に行きます。

いとろ ふみえ …… 生き活きと、ちゃんと生きたい。

かきもと ひとし …… 家に閉じこもっててはいけないので、できるだけ外に出て身体を動かしたり気晴らしに散歩などしながら羽をのばし健康に心を配りたい。

かなざわ のぶゆき …… 外出の機会を増やしたい。

きたうら かずのり …… 列車の旅もしたい。

きたぐち えつこ …… 手芸の人を雇って作品を作りたい。男の人には厳しくします！

こすぎ ゆうた …… 健康第一。

こんどう じゅんこ …… 健康第一。今年もみんなと仲良くしていきたいです。将棋も上達したい。

たかなが ひろあき …… 健康には気をつけたい。詰将棋をしっかりと解きたい。イベントには絶対参加したい。

たきやま かずや …… 行ける間に大台ヶ原へ「無謀ツアー」したい！ジャズのライブも行きたいね。

たきやま りか …… リハビリをしっかりとする。ものをはっきりとストレートに言う。

つだ ともこ …… 今年は太鼓をやりたいな！ピアノも習いたいな。天国のお母さん聞いてるかな？

ほりえ ゆうすけ …… 園芸、(入院中の)柳川福美さん帰ってきてほしい。

みなみ かつみ …… 特大コントロールしてぜんかい屋の皆さまと仲良くしたい。皆さまと一緒にバーベキューとかユニバーサルスタジオとか、なんば花月に行きたい。

むらかみ あきら …… 健康に気をつけて楽しく過ごしたい。どこか景色の良い所に出かけてみたい。将棋の詰めを磨いてT君に勝ちたい。

やながわ ふくみ …… (入院中)

◇ 個人の目標 スタッフ

- いとまい こ たいちょうかんり しんしんども けんこう じょうたい しごと おこな
 糸井麻衣子 …… 体調管理をしっかりと。心身共に健康な状態で仕事を行う。
- かんだ こうじ ひび たの わたしじしん からだ き
 神田 孝次 …… 日々、メンバーさんと楽しくつとめ、私自身も体に気をつけ、
 スタッフと共にガンバります。
- きたぐち ゆきお はなし むずか つた
 北口 幸男 …… 話を難しく伝えない！！
- しもだ かずや からだ き しごと
 下田 一也 …… 体に気をつけながら仕事をする。
- さかい たろう りか ごもく しやうぎ か
 坂井 太郎 …… 利加さんに五目とハサミ将棋を勝つ！！
- しのはら すずね たいちょうかんり せいしんめん き がんば
 篠原 鈴音 …… 体調管理、精神面に気をつけながら頑張る。
- たかしま よしゆき ひとりひとり たの つく
 高島 義幸 …… メンバーさん一人一人の楽しみを作っていきます。
- とだ しゅんじろう すこ
 戸田 俊二郎 …… あきらめず、少しずつでも「まし」になるよう、できることをする。
- ふくしま よしひろ ちゆうおうほんせん の ねざ とこ み い いま あたら
 福島 義弘 …… 中央本線に乗って「寝覚めの床」を見に行く。今までにない新
 しい取り組みを一つ実現させる。
- もりざわ かおり はっさん たいちょうかんり
 森澤 香織 …… ストレスをうまく発散しながら体調管理する。



KSKすたこらさん

7. 予算計画

予算案について

1) 生活介護給付費

さくねんどじっせき みとお つき まんえん きゅうふひ みこ さんしゅつ
昨年度実績からの見通しとして、月430万円の給付費を見込んで算出した。
りょう ぞうげん たしょう はぼ はっせい つきづき すい
利用の増減によって多少の幅は発生するものとして、月々の推移はしっかりと
かくにん
確認していきたい。

2) 人件費

いく じ きゅうか や ほじょ さくねん がつ はけん
育児休暇のぜんかい屋スタッフの補助として昨年11月から派遣として
きんむ ひじょうきん おうえん けいぞくこよう いくきゅう
勤務している非常勤スタッフを応援センターとして継続雇用していく。育休
きかん みとお ふとうめい よさんぐみ むずか
期間がいつまでになるかという見通しが不透明なため予算組が難しいもの
じじつ
事実である。

きゅうじんぼしゅうちゅう りょうがえや じんけんひ よさん く こ
また求人募集中である良返屋スタッフの人件費も予算に組み込んでいる。

2022年度 財務諸表

2023年度総会用資料

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

- 1 活 動 計 算 書
- 2 貸 借 対 照 表
- 3 財 務 諸 表 の 注 記
- 4 財 産 目 録
- 5 収 益 事 業 損 益 計 算 書
- 6 2022年度決算案と2023年度予算案
- 7 財 務 状 況 の 推 移 グ ラ フ
- 8 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人おおさか行動する障害者応援センター

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター
活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目		金額	
I 経常収益			
1	受取会費		
	正会員受取会費	47,000	
	障害者受取会費	12,000	
	応援者受取会費	32,000	
	声援者受取会費	32,000	123,000
2	受取寄付金		
	一般寄付金	84,400	
	会員カンパ	26,870	111,270
3	受取助成金等		
	社会福祉施設物価高騰対策補助金等	79,200	79,200
4	事業収益		
	生活介護給付費	46,838,665	
	利用者負担金	130,201	
	処遇改善加算金	2,064,892	
	特別処遇改善加算金	656,897	
	ベースアップ等支援	267,725	
	その他生活介護	359,860	
	生産活動収益金	160,821	
	教育研修事業収益	358,624	
	広報事業収益	16,000	
	イベント交流事業収益	49,810	
	その他事業収益	11,170	50,914,665
5	その他収益		
	受取利息	185	
	雑収益	38,380	38,565
	経常収益合計		51,266,700
II 経常費用			
1	事業費		
(1)	人件費		
	常勤職員給料	20,748,162	
	非常勤職員給料	3,883,105	
	各種手当	4,562,377	
	生産活動還元金	154,750	
	法定福利費	4,345,452	
	福利厚生費	64,589	
	退職給付費用	546,000	
	人件費計	34,304,435	
(2)	その他経費		
	教育研修事業費	271,960	
	広報事業費	40,107	
	その他事業費	712,305	
	材料費	136,744	
	旅費交通費	146,170	
	通信費	371,622	
	消耗品費	256,988	
	消耗備品費	63,857	
	保守整備費	440,528	

	賃借料	5,226,423		
	保険料	308,170		
	水道光熱費	647,834		
	車両関係費	1,449,177		
	運営経費	31,698		
	委託料	2,862,750		
	印刷費	2,600		
	行事関係経費	181,357		
	支払手数料	16,060		
	減価償却費	63,603		
	雑費	124,611		
	その他経費計	13,354,564		
	事業費合計		47,658,999	
2	管理費			
(1)	人件費			
	常勤職員給料	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	各団体調整事業費	3,000		
	教育研修事業費	82,700		
	広報事業費	23,340		
	旅費交通費	104,440		
	通信費	36,760		
	消耗品費	990		
	保険料	1,800		
	運営経費	396,000		
	印刷費	48,660		
	会議費	4,530		
	諸会費	32,300		
	研修費	8,500		
	支払手数料	11,709		
	雑費	2,695		
	その他経費計	757,424		
	管理費合計		757,424	
	経常費用合計			48,416,423
	当期経常増減額			2,850,277
III	経常外費用			
1	過年度損益修正損		1,100	
	経常外費用合計			1,100
	税引き前当期正味財産増減額			2,849,177
	法人税等			70,000
	当期正味財産増減額			2,779,177
	前期繰越正味財産額			20,977,744
	次期繰越正味財産額			23,756,921

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター
貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,601,209		
未収入金	9,224,204		
流動資産合計		18,825,413	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	1		
工具器具備品	318,399		
有形固定資産計	318,400		
(2)投資その他の資産			
敷金	375,000		
長期前払費用	10,630		
固定性預金	6,225,449		
投資その他の資産計	6,611,079		
固定資産合計		6,929,479	
資産合計			25,754,892
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
未払法人税等	70,000		
預り金	405,331		
流動負債合計		475,331	
2. 固定負債			
長期借入金	1,200,000		
長期預り金	322,640		
固定負債合計		1,522,640	
負債合計			1,997,971
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,977,744	
当期正味財産増減額		2,779,177	
正味財産合計			23,756,921
負債及び正味財産合計			25,754,892

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

財務諸表の注記

2022年4月1日から2023年3月31日まで

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
ただし建物は法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税は税込経理によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	No.1 (単位:円)					
	生活介護 ぜんかい屋			生活介護 良返屋		
	生活介護事業	生産活動	ぜんかい屋合計	生活介護事業	生産活動	良返屋合計
I. 経常収益						
1 受取会費						
正会員受取会費			0			0
障害者受取会費			0			0
応援者受取会費			0			0
声援者受取会費			0			0
2 受取寄付金						
街頭募金			0			0
一般寄付金	50,400		50,400			0
会員カンパ			0			0
3 受取助成金等						
サービス継続支援事業補助金	79,200		79,200			0
4 事業収益						
生活介護給付費	36,393,643		36,393,643	10,445,022		10,445,022
利用者負担金	0		0	130,201		130,201
処遇改善加算金	1,604,422		1,604,422	460,470		460,470
特別処遇改善加算金	510,409		510,409	146,488		146,488
ベースアップ等支援	208,023		208,023	59,702		59,702
その他生活介護	280,632		280,632	79,228		79,228
生産活動収益金		48,295	48,295		112,526	112,526
行事参加収益			0			0
各団体調整事業収益			0			0
教育研修事業収益			0			0
まちづくり事業収益			0			0
広報事業収益			0			0
イベント交流事業収益	49,810		49,810			0
調査研究事業収益			0			0
その他事業収益	8,000		8,000	3,170		3,170
5 その他収益						
受取利息	56		56	12		12
雑収益	36,920		36,920			0
経常収益計	39,221,515	48,295	39,269,810	11,324,293	112,526	11,436,819
II. 経常費用						
(1) 人件費						
常勤職員給料	17,796,162		17,796,162	2,952,000		2,952,000
非常勤職員給料	2,880,665		2,880,665	1,002,440		1,002,440
各種手当	3,203,372		3,203,372	1,359,005		1,359,005
生産活動還元金		91,500	91,500		63,250	63,250
法定福利費	4,345,452		4,345,452			0
福利厚生費	44,237		44,237	20,352		20,352
退職給付費用	546,000		546,000			0
人件費計	28,815,888	91,500	28,907,388	5,333,797	63,250	5,397,047
(2) その他経費						
各団体調整事業費	0		0	0		0
教育研修事業費	0		0	0		0
まちづくり事業費	0		0	0		0
広報事業費	0		0	0		0
イベント交流事業費	0		0	0		0
その他事業費	712,305		712,305	0		0
材料費		89,471	89,471		47,273	47,273
旅費交通費	63,660		63,660	81,470		81,470
通信費	225,274		225,274	146,348		146,348
消耗品費	244,770		244,770	12,218		12,218
消耗備品費	63,857		63,857	0		0
事務用品費	0		0	0		0
保守整備費	187,746		187,746	252,782		252,782

KSKすたこらさん

賃借料	2,659,287		2,659,287	2,567,136		2,567,136
保険料	292,870		292,870	0		0
水道光熱費	503,704		503,704	144,130		144,130
車両関係費	1,327,486		1,327,486	121,691		121,691
運営経費	0		0	31,698		31,698
委託料	2,857,750		2,857,750	5,000		5,000
印刷費	2,600		2,600	0		0
会議費	0		0	0		0
行事関係経費	112,588		112,588	68,769		68,769
租税公課	0		0	0		0
諸会費	0		0	0		0
研修費	0		0	0		0
支払手数料	5,940		5,940	9,460		9,460
減価償却費	0		0	63,603		63,603
支払利息	0		0	0		0
雑費	124,611		124,611	0		0
その他経費計	9,384,448	89,471	9,473,919	3,504,305	47,273	3,551,578
経常費用計	38,200,336	180,971	38,381,307	8,838,102	110,523	8,948,625
当期経常増減額	1,021,179	△ 132,676	888,503	2,486,191	2,003	2,488,194

No.2 (単位:円)

科目	一般事業	事業部門合計	管理部門	総合計
I. 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費	0	0	47,000	47,000
障害者受取会費	0	0	12,000	12,000
応援者受取会費	0	0	32,000	32,000
声援者受取会費	0	0	32,000	32,000
2 受取寄付金				
街頭募金	0	0	0	0
一般寄付金	0	50,400	34,000	84,400
会員カンパ	0	0	26,870	26,870
3 受取助成金等				
サービス継続支援事業補助金	0	79,200	0	79,200
4 事業収益				
生活介護給付費	0	46,838,665	0	46,838,665
利用者負担金	0	130,201	0	130,201
処遇改善加算金	0	2,064,892	0	2,064,892
特別処遇改善加算金	0	656,897	0	656,897
ベースアップ等支援	0	267,725	0	267,725
その他生活介護	0	359,860	0	359,860
生産活動収益金	0	160,821	0	160,821
行事参加収益	0	0	0	0
各団体調整事業収益	0	0	0	0
教育研修事業収益	358,624	358,624	0	358,624
まちづくり事業収益	0	0	0	0
広報事業収益	16,000	16,000	0	16,000
イベント交流事業収益	0	49,810	0	49,810
調査研究事業収益	0	0	0	0
その他事業収益	0	11,170	0	11,170
5 その他収益				
受取利息	0	68	117	185
雑収益	0	36,920	1,460	38,380
経常収益計	374,624	51,081,253	185,447	51,266,700
II. 経常費用				
(1) 人件費				
常勤職員給料	0	20,748,162	0	20,748,162
非常勤職員給料	0	3,883,105	0	3,883,105
各種手当	0	4,562,377	0	4,562,377
生産活動還元金	0	154,750	0	154,750
法定福利費	0	4,345,452	0	4,345,452
福利厚生費	0	64,589	0	64,589
退職給付費用	0	546,000	0	546,000
人件費計	0	34,304,435	0	34,304,435
(2) その他経費				
各団体調整事業費	0	0	3,000	3,000
教育研修事業費	271,960	271,960	82,700	354,660
まちづくり事業費	0	0	0	0
広報事業費	40,107	40,107	23,340	63,447
イベント交流事業費	0	0	0	0
その他事業費	0	712,305	0	712,305

材料費	0	136,744	0	136,744
旅費交通費	1,040	146,170	104,440	250,610
通信費	0	371,622	36,760	408,382
消耗品費	0	256,988	990	257,978
消耗備品費	0	63,857	0	63,857
事務用品費	0	0	0	0
保守整備費	0	440,528	0	440,528
賃借料	0	5,226,423	0	5,226,423
保険料	15,300	308,170	1,800	309,970
水道光熱費	0	647,834	0	647,834
車両関係費	0	1,449,177	0	1,449,177
運営経費	0	31,698	396,000	427,698
委託料	0	2,862,750	0	2,862,750
印刷費	0	2,600	48,660	51,260
会議費	0	0	4,530	4,530
行事関係経費	0	181,357	0	181,357
租税公課	0	0	0	0
諸会費	0	0	32,300	32,300
研修費	0	0	8,500	8,500
支払手数料	660	16,060	11,709	27,769
減価償却費	0	63,603	0	63,603
支払利息	0	0	0	0
雑費	0	124,611	2,695	127,306
その他経費計	329,067	13,354,564	757,424	14,111,988
経常費用計	329,067	47,658,999	757,424	48,416,423
当期経常増減額	45,557	3,422,254	△ 571,977	2,850,277

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は、23,756,921円ですが、その内0円は、下記のように用途が制約されています。

したがって用途が制約されていない正味財産は、23,756,921円です。

(単位:円)

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
ガソリン代補助金	0	25,200	25,200	0	大阪府
社福施設物価高騰対策補助金	0	54,000	54,000	0	大阪府
合計	0	79,200	79,200	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	3,066,500	0	0	3,066,500	3,066,499	1
工具器具備品	1,441,600	382,000	0	1,823,600	1,505,201	318,399
合計	4,508,100	382,000	0	4,890,100	4,571,700	318,400

5. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	1,800,000	0	600,000	1,200,000
合計	1,800,000	0	600,000	1,200,000

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター

財産目録

2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金		
事務局 手元現金	8,738	
生活介護事業所 良返屋 手元現金	59,837	
生活介護事業所 ぜんかい屋 手元現金	123,115	
郵便振替口座	382,959	
普通預金		
関西みらい銀行天神橋筋支店 事務局	553,115	
関西みらい銀行天神橋筋支店 事務局	92,960	
近畿労働金庫梅田支店 事務局	299,323	
関西みらい銀行天神橋筋支店 良返屋	2,354,680	
三井住友銀行天神橋支店 良返屋	371,130	
関西みらい銀行天神橋筋支店 良返屋	139,343	
関西みらい銀行天神橋筋支店 ぜんかい屋	5,216,009	
現金預金合計		9,601,209
未収入金		
生活介護給付費 2, 3月分	9,224,204	
サービス継続支援事業補助金	0	
未収入金合計		9,224,204
流動資産合計		18,825,413
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具		
キャラバンチェアキャブ	1	
車両運搬具合計	1	
工具器具備品		
印刷機	1	
リソグラフ	1	
床走行式リフト・ベルト	318,397	
工具器具備品合計	318,399	
有形固定資産計		318,400
(2) 投資その他の資産		
敷金		
敷金	375,000	
敷金合計	375,000	
長期前払費用		
リサイクル預託金	10,630	
長期前払費用合計	10,630	
固定性預金		
固定性定期預金	6,225,449	
固定性預金合計	6,225,449	
投資その他の資産計		6,611,079
固定資産合計		6,929,479
資産合計		25,754,892

II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
社会保険料	0		
未払金合計	0		
未払法人税等			
未払法人税等	70,000		
未払法人税等合計	70,000		
預り金			
源泉所得税預り金	116,271		
徴収住民税預り金	56,781		
社会保険料預り金	△ 53,009		
雇用保険預り金	285,288		
その他預り金	0		
預り金合計	405,331		
流動負債合計		475,331	
2. 固定負債			
長期借入金			
関西みらいぜんかい屋	1,200,000		
長期借入金合計	1,200,000		
長期預り金			
職員積立金	322,640		
長期預り金合計	322,640		
固定負債合計		1,522,640	
負債合計			1,997,971
正味財産			23,756,921

KSKすたこらさん

(名称) 特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター
収益事業損益計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目	合計	非収益事業	収益事業	備考
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費	47,000	47,000	0	
障害者受取会費	12,000	12,000	0	
応援者受取会費	32,000	32,000	0	
声援者受取会費	32,000	32,000	0	
2 受取寄付金				
一般寄付金	84,400	84,400	0	
会員カンパ	26,870	26,870	0	
3 受取助成金等				
社会福祉施設物価高騰対策補助金等	79,200	0	79,200	
4 事業収益				
生活介護給付費	46,838,665	0	46,838,665	
利用者負担金	130,201	0	130,201	
処遇改善加算金	2,064,892	0	2,064,892	
特別処遇改善加算金	656,897	0	656,897	
ベースアップ等支援	267,725	0	267,725	
その他生活介護	359,860	0	359,860	
生産活動収益金	160,821	160,821	0	生産活動を除く
教育研修事業収益	358,624	358,624	0	一般事業を除く
広報事業収益	16,000	16,000	0	一般事業を除く
イベント交流事業収益	49,810	0	49,810	
その他事業収益	11,170	0	11,170	
5 その他収益				
受取利息	185	117	68	管理部門を除く
雑収益	38,380	1,460	36,920	管理部門を除く
経常収益合計	51,266,700	771,292	50,495,408	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
常勤職員給料	20,748,162	0	20,748,162	
非常勤職員給料	3,883,105	0	3,883,105	
各種手当	4,562,377	0	4,562,377	
生産活動還元金	154,750	154,750	0	生産活動を除く
法定福利費	4,345,452	0	4,345,452	
福利厚生費	64,589	0	64,589	
退職給付費用	546,000	0	546,000	
人件費計	34,304,435	154,750	34,149,685	
(2) その他経費				
教育研修事業費	271,960	271,960	0	一般事業を除く
広報事業費	40,107	40,107	0	一般事業を除く
その他事業費	712,305	0	712,305	
材料費	136,744	136,744	0	生産活動を除く
旅費交通費	146,170	1,040	145,130	一般事業を除く
通信費	371,622	0	371,622	一般事業を除く
消耗品費	256,988	0	256,988	
消耗備品費	63,857	0	63,857	
保守整備費	440,528	0	440,528	
賃借料	5,226,423	0	5,226,423	
保険料	308,170	15,300	292,870	一般事業を除く
水道光熱費	647,834	0	647,834	
車両関係費	1,449,177	0	1,449,177	

運営経費	31,698	0	31,698	
委託料	2,862,750	0	2,862,750	
印刷費	2,600	0	2,600	
行事関係経費	181,357	0	181,357	
支払手数料	16,060	660	15,400	
減価償却費	63,603	0	63,603	
雑費	124,611	0	124,611	
その他経費計	13,354,564	465,811	12,888,753	
事業費合計	47,658,999	620,561	47,038,438	
2 管理費				
(1) 人件費				
常勤職員給料	0	0	0	
人件費計	0	0	0	
(2) その他経費				
各団体調整事業費	3,000	45	2,955	収入比により按分
教育研修事業費	82,700	1,244	81,456	収入比により按分
広報事業費	23,340	351	22,989	収入比により按分
旅費交通費	104,440	1,571	102,869	収入比により按分
通信費	36,760	553	36,207	収入比により按分
消耗品費	990	15	975	収入比により按分
保険料	1,800	27	1,773	収入比により按分
運営経費	396,000	5,958	390,042	収入比により按分
印刷費	48,660	732	47,928	収入比により按分
会議費	4,530	68	4,462	収入比により按分
諸会費	32,300	486	31,814	収入比により按分
研修費	8,500	128	8,372	収入比により按分
支払手数料	11,709	176	11,533	収入比により按分
雑費	2,695	41	2,654	収入比により按分
その他経費計	757,424	11,395	746,029	
管理費合計	757,424	11,395	746,029	
経常費用合計	48,416,423	631,956	47,784,467	
当期経常増減額	2,850,277	139,336	2,710,941	
III 経常外費用				
1 過年度損益修正損	1,100	1,100	0	
経常外費用合計	1,100	1,100	0	
税引前当期正味財産増減額	2,849,177	138,236	2,710,941	
法人税等	70,000	0	70,000	
当期正味財産増減額	2,779,177	138,236	2,640,941	
前期繰越正味財産額	20,977,744	16,539,837	4,437,907	
次期繰越正味財産額	23,756,921	16,678,073	7,078,848	

おおさか行動する障害者応援センター 2022年度決算案・2023年度予算案

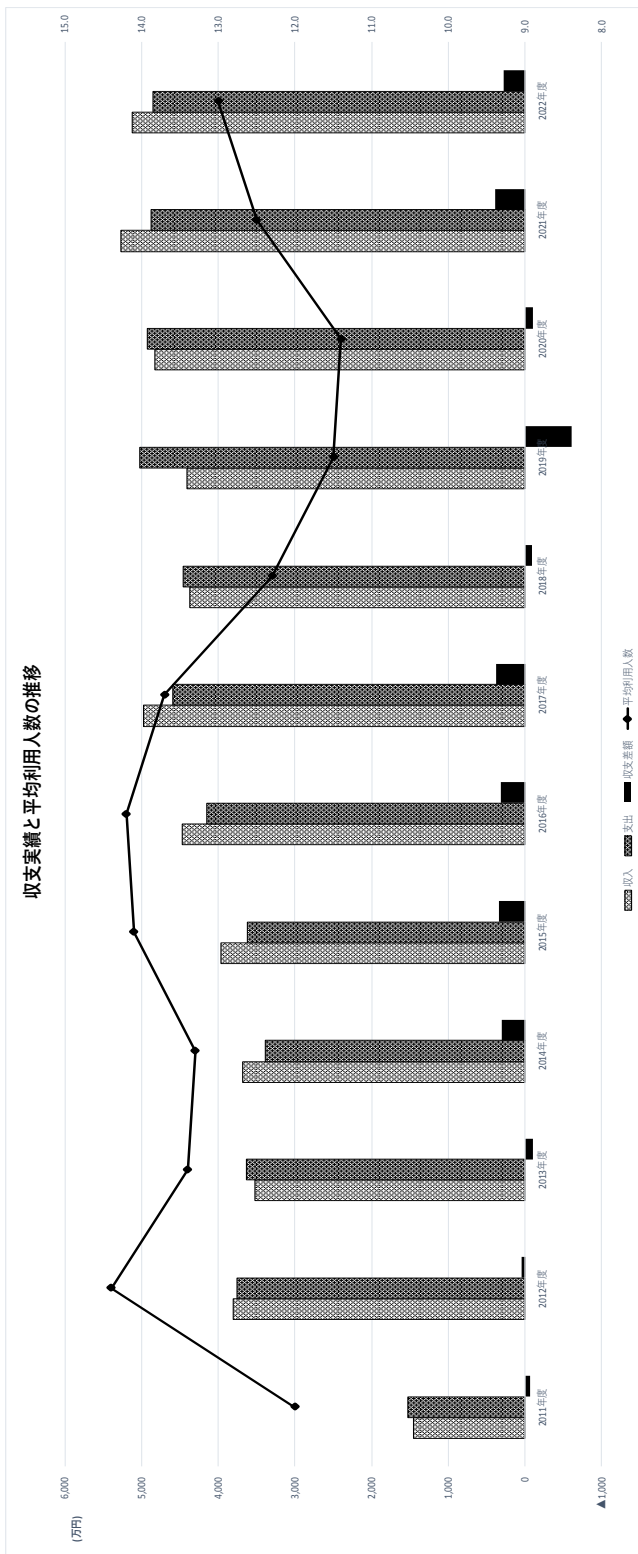
2023年3月31日 現在暫定 単位：円				
	2022年度 予算	2022年度 決算案	2023年度 予算案	備考
【損益計算部門】				
収入の部 合計	48,538,000	51,266,700	53,148,000	
支出の部 合計	48,400,620	48,487,523	53,137,980	
収支の差	137,380	2,779,177	10,020	経常損益
収入の部				
正会員費	100,000	47,000	100,000	事務局
障害者会員費	20,000	12,000	20,000	事務局
応援者会員費	30,000	32,000	30,000	事務局
声援者会員費	100,000	32,000	100,000	事務局
(受取会費)	250,000	123,000	250,000	
街頭募金	0	0	0	
一般寄附金	100,000	84,400	100,000	
会員カンパ	80,000	26,870	80,000	
(受取寄付金)	180,000	111,270	180,000	
補助金	0	79,200	0	
助成金	0	0	0	
生活介護給付費	47,393,000	50,188,039	51,953,000	一日平均14名、月20日開所想定
生活介護	44,880,000	46,838,665	48,600,000	
処遇改善	1,885,000	2,064,892	2,138,000	2020年12月分より取得
特定処遇改善	628,000	656,897	680,000	2022年10月分より取得
ベースアップ等支援		267,725	535,000	2022年2月分より9月分まで特例交付金
その他		359,860	0	
利用者負担金	150,000	130,201	150,000	
行事参加費	150,000	25,650	150,000	生活介護事業
その他		104,551	0	介護費自己負担分
生産活動収益	205,000	160,821	205,000	
手芸	40,000	34,855	40,000	生活介護事業
印刷	160,000	125,966	160,000	生活介護事業
その他	5,000	0	5,000	生活介護事業
各団体調整事業収益	0	0	0	
教育研修事業収益	300,000	358,624	350,000	センター事業
まちづくり事業収益	10,000	0	10,000	センター事業
広報事業収益	30,000	16,000	30,000	センター事業
イベント交流事業収益	20,000	49,810	20,000	センター事業
調査研究事業費	0	0	0	センター事業
その他事業収益	0	11,170	0	センター事業
(事業収益)	48,108,000	50,993,865	52,718,000	
受取利息	0	185		
雑収益	0	38,380		
(その他収益)	0	38,565	0	
受取利息	0	0	0	
(営業外の収益)	0	0	0	
収入の部合計	48,538,000	51,266,700	53,148,000	
支出の部				
常勤職員給料	23,858,000	20,748,162	26,390,000	
非常勤職員給料	5,087,360	3,883,105	4,889,720	
各種手当	2,594,820	4,562,377	2,942,820	
生産活動還元金費	100,000	154,750	100,000	
法定福利費	4,850,440	4,345,452	5,835,440	
福利厚生費	0	64,589	70,000	
退職給付費用	576,000	546,000	576,000	
(人件費)	37,066,620	34,304,435	40,803,980	生活介護事業
生産活動材料費	115,000	136,744	120,000	
手芸	10,000	9,957	10,000	生活介護事業
印刷	100,000	111,756	100,000	生活介護事業
その他	5,000	15,031	10,000	生活介護事業
各団体調整事業費	0	3,000	0	センター事業
教育研修事業費	180,000	354,660	250,000	センター事業

おおさか行動する障害者応援センター 2022年度決算案・2023年度予算案

まちづくり事業費	3,000	0	3,000	センター事業
広報事業費	150,000	63,447	150,000	センター事業
イベント事業費	5,000	0	5,000	センター事業
調査研究事業費	10,000	0	10,000	センター事業
その他事業費	0	712,305	600,000	センター事業
旅費交通費	120,000	146,170	150,000	センター事業
通信費	375,000	379,144	375,000	
電話・ネット	360,000	358,668	360,000	
通信・運搬	15,000	20,476	15,000	
消耗品費	180,000	257,978	180,000	
消耗備品費	80,000	63,857	80,000	
保守整備費	250,000	440,528	250,000	
賃貸料	5,200,000	5,226,423	5,200,000	
家賃	4,500,000	4,506,087	4,500,000	生活介護事業
駐車場	700,000	720,336	700,000	生活介護事業
保険料	360,000	309,970	300,000	生活介護事業
水道光熱費	530,000	647,834	590,000	
電気	460,000	587,359	520,000	生活介護事業
ガス	20,000	23,716	20,000	生活介護事業
水道	50,000	36,759	50,000	生活介護事業
車両関係費	1,500,000	1,449,177	1,530,000	
車両整備	500,000	356,245	500,000	生活介護事業
ガソリン	1,000,000	988,447	1,000,000	生活介護事業
その他	0	104,485	30,000	
運営経費	0	427,698	10,000	
委託料	1,620,000	2,862,750	1,800,000	協力医等の顧問料
印刷費	10,000	28,600	30,000	生活介護事業
会議費	0	0	0	
行事関係経費	80,000	181,357	100,000	生活介護事業
租税公課	0	0	0	生活介護事業
諸会費	50,000	32,300	35,000	
研修費	120,000	8,500	60,000	キャリアバス経費含む
支払手数料	25,000	16,940	20,000	生活介護事業
減価償却費	0	63,603	0	生活介護事業
雑費	100,000	124,611	100,000	
支払利息	0	0	0	
(その他経費)	11,063,000	13,937,596	11,948,000	
(事業費)	48,129,620	48,242,031	52,751,980	
常勤職員給料	0	0	0	
非常勤職員給料	0	0	0	事務局
各種手当	0	0	0	事務局
法定福利費	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
(人件費)	0	0	0	
旅費交通費	96,000	104,440	96,000	事務局
通信費	30,000	29,238	30,000	事務局
減価償却費	0	0	0	事務局
保険料	10,000	0	0	事務局
印刷費	10,000	22,660	20,000	事務局
会議費	0	4,530	5,000	事務局
消耗品費	0	0	0	事務局
消耗備品費	10,000	0	0	事務局
租税公課	0	0	0	事務局
事務用品費	0	0	0	事務局
支払手数料	20,000	10,829	10,000	事務局
諸会費	25,000	0	0	事務局
雑費	0	2,695	5,000	事務局
研修費	0	0	0	事務局
(管理費)	201,000	174,392	166,000	
支払利息	0	0	0	
雑損失	0	0	0	
法人税等	70,000	70,000	70,000	
予備費	0	0	150,000	
過年度損益修正損	0	1,100	0	確定済決算の修正処理
(営業外の支出)	70,000	71,100	220,000	
支出の部合計	48,400,620	48,487,523	53,137,980	

【店舗センター収支と事業所の利用人数】

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	備考
収入	14,567,529	38,107,830	35,241,515	36,876,251	39,643,379	44,679,350	49,727,337	43,766,367	44,120,978	48,227,051	52,696,412	51,266,700	
支出	15,254,068	37,628,199	36,280,901	33,853,865	36,275,450	41,484,628	45,899,628	44,624,793	50,245,748	49,211,733	48,793,337	48,487,523	
収支差額	▲686,539	479,631	▲1,039,386	3,022,386	3,367,929	3,194,722	3,827,709	▲858,426	▲6,124,770	▲984,682	3,903,075	2,779,177	繰越金含まず
平均利用人数	12.0	14.4	13.4	13.3	14.1	14.2	13.7	12.3	11.5	11.4	12.5	13.0	2011年度は事業所申請時のデータ



監査報告書

2022年度における特定非営利活動法人おおさか行動する障害者応援センターの事業内容および会計状況について、関係帳簿等を慎重に審査したところ、適正であることを認めます。

2023年5月30日 監事 辻 郁子 

2023年5月30日 監事 楠高 千秋 

特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター 代表者 佐々木 康至 様

おおさか行動する障害者応援センター 趣意書

● 共通の未来に向かって……

おおさかには、さまざまな人が生きています。けれども、ひとりひとは孤独です。支えあっている実感がなく、ひとりで突っ張っています。私たちは、できれば素直でありたい。率直でありたい。少し勇気が足りないようです。ちょっとでも弱音を吐いたら…もう何もかもおしまい…という空気に負けています。これでは、未来が見えません。

私たちは力を合わせて生き合いたいと願います。おおさかは、ひとりで生きていく場所ではありません。お互いに、それぞれの宝物を持ちよって、私たちのおおさかを創っていきたいと思います。

私たちの宝物とは、弱さ、強さ、ずるさ、かしこさ、おろかさ、素直さ、ニヒルさ、きたなさ、うつくしさ、こわさ、やさしさ、あいまいさ、率直さ、暗さ、明るさ、悲しさ、うれしさ、怒り、許し、誤解、信頼、ねたみ、愛情、にくしみ、とまどい、いなおり、びんぼう、富、忙しさ、暇さ、…人間まるごとです。

それぞれの持ちよりで、落語にでてくる八つつあん、熊さん、ご隠居さん…のような人間関係をとりもどしたいと思います。酒やサカナを持ち寄って、いきいきしたおおさかを創りましょう。たった一人の自分を、少しの勇気で乗り越えて、強さも弱さもさらけ出して、いろんな人とつき合ってみたら、今まで見えなかったものが見えてくると思います。それが、これからのおおさかです。

今、ふと立ち止まった地点で何が見えるでしょう。ふるさと、思い出、父母のこと、友のこと…これからのこと。けれども、私たちがつながらなかつたら、未来はやっぱり孤独です。私たちは堂々と生きられないままです。こんなことでいい筈がありません。

私たちは、同じ世代に、同じおおさかで生活をするようになった者たちです。しかも、私たちの身体には熱い血が流れています。感じ合えないわけがありません。あなたと私は、顔も身体つきも声も違います。思い出もそれぞれに違った形で現われました。けれども、私たちは違いをしっかりと見つめることで、共通の

ものを見つけることができます。違いをしっかりと知ることで共鳴することができます。あなたに見えることが、私には見えないかも知れません。あなたにできることが私にはできないかも知れません。しかし、それが分れば見えたも同じ、できたも同じです。

私たちが共有できる未来のおおさかは、こうした、あなたと私の関係が基盤になってできていくのだと思います。

●今を見つめて……

お金がないため今日を生きられない人がいて、人を蹴落としてどんどんお金が入ってくる人がいる——こうした今のありようを私たちはしっかり知っています。私があるあなたを、あなたが私を差別しながら生きている——こうした弱い自分を見つめることから、私たちは社会（おおさか）から生活をおびやかされる差別をこうむっている人びとの存在を、自分にとって何なのかを考えなければなりません。このことと、きっちりと向き合って生きなければ、私たちひとりひとは解き放たれません。

私たちは、自分の思いのままに、率直に生きるために、「今」を見つめることから始めたいと思います。

おおさかには、あなたを必要とする人がいます。（じつは、あなたが必要とする人でもあります）手の不自由な人、足の不自由な人、目の不自由な人、耳の不自由な人、言葉の不自由な人、知恵の不自由な人……です。彼らと一緒に自由をつかもう。一緒に歩くこと、一緒に暮らすこと、一緒に考えること。これを通して、手のこと、足のこと、目のこと、耳のこと、言葉について、知恵について、深く考えること。それは人間まるごとのありようを学ぶことに他なりません。机上の考えではつかめない、肌で知る人と人のつながりようです。

私たちの手におおさかを取りもどす第一歩です。こうした、私たち自身が生まれ変わる毎日の生活を通して、きっと共通の未来が見えてくると確信します。その日に向けて力強い第一歩を、それぞれの宝物をたずさえて進もうと呼びかけます。

●おおさか行動する障害者応援センターは……

①誰もが参加できるセンターであること。

私たち（すべての人）の手で、私たちのおおさかを創る運動です。誰もが自分のできることを持ち込んで発言し、運営していくセンターです。具体的には例会をもち、機関誌を発行します。

②センターの経営は自主的であること。

活動を広げ、充実させるための資金は、少額であっても、会員自らが身銭を出す会費を基盤として、行政に要請したり、広範な呼びかけによるカンパ、協力金受けの窓口をつくり、運営費の確保に努力します。

これにより、障害者の送迎にともなう交通費の自己負担をなくし、機関誌の発行、PR活動の費用、例会・催し物の費用、通信費に当てます。

なお、近い将来、独自の事務所を設立するために建設資金を積み立てます。

③一緒に行動するのは、お互いの合意によること。

足の不自由な者と足の丈夫な者が一緒に行動する場合を例にすると、「足」を提供される者と「足」を提供する者は、それぞれ自分の生活と要求にもとづいて、お互いの合意によって行動します。単に“足がわり”という発想では、お互いに疲れることが多く、長続きする関係になりにくいのが今までの傾向です。率直に主張し合う関係から共通の行動を見つけて出していきたいと思えます。誰にでも選ぶ権利はあるのですが、ただ、障害者の立場と、健全者の立場では現状のところ「選ぶ権利」が等しく存在していないことからの出発点であることを踏まえます。（障害者の差別状況）

④つねに、自分が生まれ変わるための活動であること。

障害者と健全者は、どこが同じで、どこが違っているのか。たとえば、③の「選ぶ権利」の違いは何かを学び、体験を通して知っていく中から、共有できるものを見つけ出します。それは、己れの視点をひらき、変えることであり、今のおおさかのありようをしっかりと見とおす力を養うことです。そして、おおさかを

わたし じしん
私たちが自身のものにしていきます。

⑤活動の輪を広げて、住みかに帰ること。

もともと、このセンターは必要のないものです。各自の住みかで、ごく自然な形（落語の長屋のように）で隣り近所が一緒に生きようとするのが当たり前です。でも今は違う。そこで私たちは、活動をおおさかのすみずみに広げ、私たちも住みかにもどることを目標にします。

⑥行政の肩がわりでない活動であること。

私たちの活動は、おおさかを私たちの手に取りかえすものです。いつの間にか、私たちの手から行政がおおさかを奪ってしまいました。このことの見直しです。

今、私たちが、すべてのおおさか人と一緒に生きようと決心し、活動をはじめているのは、人間として当り前の生き方を、改めて呼びかけているにすぎません。この活動を“障害者福祉”ととらえ、“本来は行政のやるべきこと”と考える人がいたら、その人こそ活動に参加してください。行政とは何か、一緒に考えていきたいと思えます。私たちは、もっと根本的なところから、この活動をはじめ、自分を変え、おおさかを変える力を創造したいと思っています。

きっと共通の未来が見えてきます。

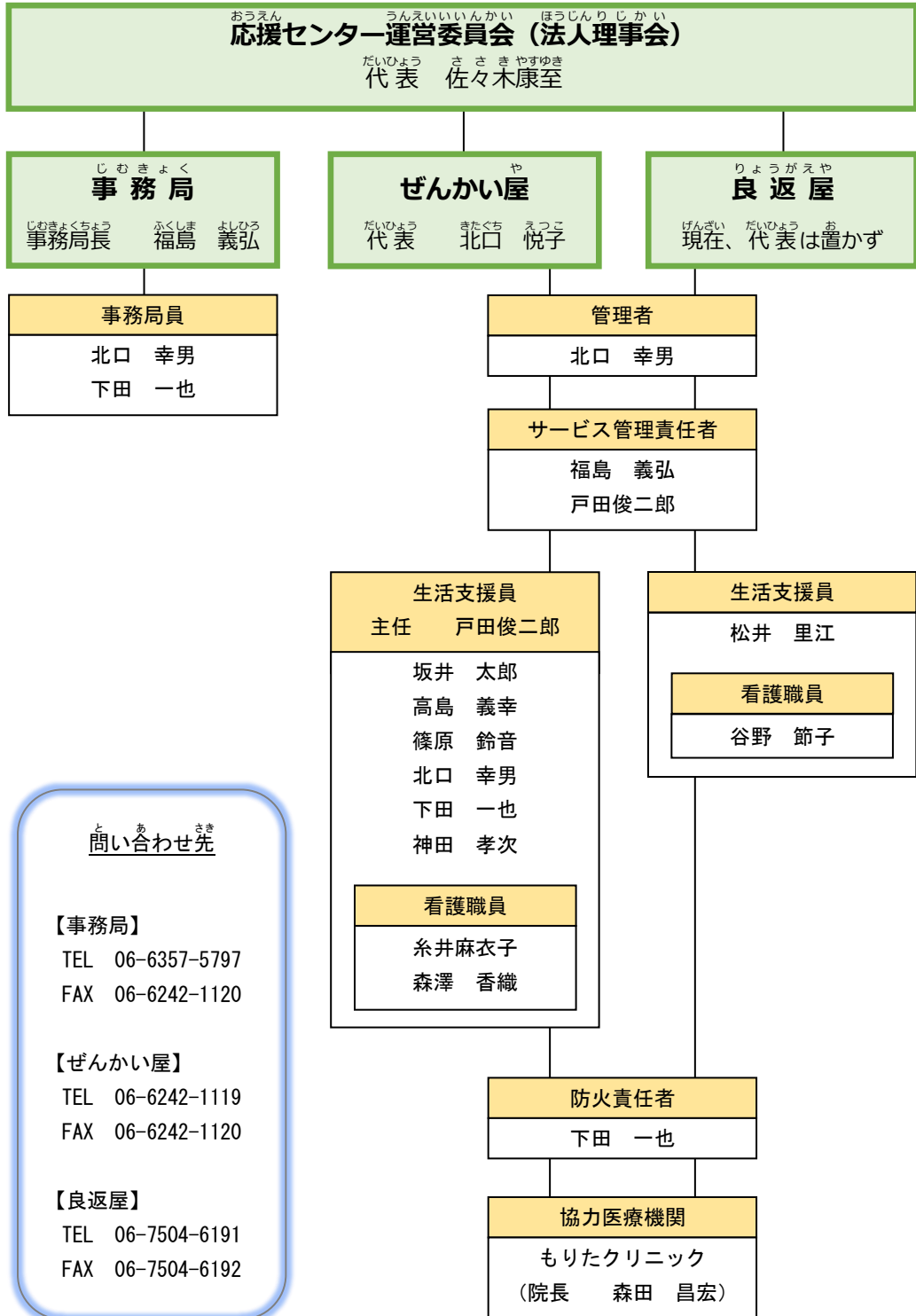
ぜひ、一緒に活動していきましょう。



● 私たちの運動にご参加ください。

「応援センター」では、つねにメンバーを募っています。まず、自分にできることから始めてみよう — というのが、この運動の特長です。つまり、あなたの主体的な参加を願い、お互いの主体性を尊重し合うことからの出発です。そのために自主申告による登録制をとっています。

2023年度 応援センター組織体制



議案外の報告

おうえん じむきょく きたぐちゆきお ことし がつ ちりょう きたのびょういん
 応援センター事務局の北口幸男さんが今年1月にコロナ治療のため北野病院に2
 しゅうかんにゆういん にゆういん じ たいおう なつとく てん しょうだいいん しえん
 週間入院しました。入院時の対応に納得のいかない点があったため、障大連の支援
 う びょういんがわ はな あ ば い か はな あ ほうこくないよう つた
 を受け病院側と話し合いの場をもちました。以下、話し合いの報告内容をお伝えしま
 しょうだいいん ほうこくぶん いんよう
 す。なお、このまとめは障大連の報告文を引用させていただきました。

ねん がつ にち きたのびょういん はな あ けつ かほうこく
 2023年4月27日 北野病院との話し合いについての結果報告

きたぐちゆきお てん うった たい びょういんがわ せつめい きさい
 北口幸男さんからの6点の訴えとそれに対しての病院側の説明について記載。
 やじるし びょういんがわ せつめい
 矢印(⇒)からが病院側の説明。

ねん がつようか しゅうかん びょうとう にゆういん
 (2023年1月8日～2週間、コロナ病棟へ入院)

① トーキングエイドを取り上げられた問題

しょうとうだい お にゆういんちゅうつか
 床頭台にトーキングエイドを置かれ、入院中使うことができなかった。
 ぎゃくりゅうせいしょくどうえん つた つた
 逆流性食道炎についてなど伝えたいことを伝えられなかった。

きたぐち しゅだん しゅ おこな かんが
 ⇒ 北口さんのコミュニケーション手段を、主としてジェスチャーで行うと考
 えていた。

しんたい いちぶ しゅだん にんしき
 身体の一部としてのコミュニケーション手段であるという認識がなかった。

びょうとう しぶつせいげん なか い
 コロナ病棟のため、私物制限がありトーキングエイドもその中に入れてし
 まった。

いっばんびょうとう しょうれい ひつようせい にんしき きょうゆう
 一般病棟ではトーキングエイドの使用例もあったが、必要性の認識の共有
 ができていなかった。

② ナースコールの設置がなかった問題

てもと お うえ
 手許にナースコールが置いていなかった上に、つながっていなかった。

がつようか お きろく
 ⇒ 1月8日にナースコールが押されたという記録あり。つながっていないとい

うことはなかった。

③食事の問題

食事時間は15分しかなく、本人に確認もせず嚥下食、水分にトロミがつけられた。
(普段は常食、水分もトロミなし) その説明もなかった。

⇒ 1月8日の時点で誤嚥性肺炎との診断があったため、その食事形態となった。
説明はしたが、入院後3日間は発熱もあり北口さんも記憶にない。落ち着いたら後に、再度説明をすればよかったが、患者が次々とくるため現状難しい。

④水分大量摂取の問題

水分は食事の時のみ。6日目の採血で脱水と言われ、大量に水分をとらされた。
それが肺に入った事が原因で、高熱がでた。

⇒ 水分摂取の促しはしたが、そこまで大量ではなかった。高熱もそれが原因ではないと考えている。

⑤体位変換の問題

昼間は放置され、夜間のみ行われて昼夜逆転になってしまった。リハビリの時にしか身体を起こしてくれず、車イスの練習もしていない。(これはコロナ病棟から一般病棟にうつって日が浅かったせいかもしれない)

⇒ 昼夜とも2～3時間おきに体位変換をしていた。ただ体位変換の実施についての細かな記録はない。

⑥点滴交換の時間の問題

夜間も交換されて、昼夜逆転になってしまった。

⇒ 抗生剤を点滴していたので、夜間交換していた。

【話し合いを通して】

トーキングエイドの重要性の認識不足や、それによってコミュニケーションが
できなくなり意思疎通が不十分であったこと、北口さんへの説明不足については認
められたが、ナースコールや体位変換の実施については、北口さんと病院側の主張
が合わず、また確認ができなかった。

特にナースコールの問題については、記録があったとのことだが自分は押し
ていない。看護師が試しに押したのかもしれない。また、熱が高く意識もうろうとして
いる患者がナースコールを押せると思うのか？と疑問を持っている。

北口さんが一番問題としていることは、本人の意思を無視して行われたこと
あり、今後言語障害がある人に対して二度と同じことがおこらないようにと
病院側に伝えた。

最初の段階での把握、病状回復後の丁寧なやりとりなど。

おうえん	そうかい	じょうきほうこく	き	いけんこうかん
応援センター	総会	における	上記報告	を聞いての意見交換

牧口：トーキングエイドを取り上げたり、今までの状況を聞いてもらえなかった
り問題が多いな。いろんな注意事項の伝達とかすべきだった。

笠原：（意思伝達に障害のある人の場合）相談員や介護者のサポートがあっ
てしかるべきだが…。

コロナ状況であったが…。コロナでなくとも起こり得る問題。

牧口：病院との話し合いには誰がついてくれたの？

北口：障大連の古田さんと砂川さんが一緒に同席してくれた。

牧口：記憶がないほどの高熱だったそうやけど、何度くらいやったの？

北口：救急車の中で39.6℃あった。

中江：トーキングエイド = 北口さんの口だという認識がされていない。

牧口：されがちな事だが、患者の意志より生命優先だが、こんな時どうしたらいい
のかな…。

症状が落ち着いた後も、トーキングエイドを取り上げられた。

KSKすたこらさん

どうよう ふせ じ こ ぼうえい かんが
同様のことを防ぐには、自己防衛で考えないといけない。

こんご かも か い なか
今後もありえることとして、紙に書いて入れておくとか。それをかばんの中
い み しめ
に入れておいて、とにかくそれを見てもらうようにジェスチャーで示すとか
こじん たいおう かんが こと ひつよう じぶん かんが
個人としてもとりあえずの対応を考えておく事が必要かも…。自分で考え
ないといけない。

しょうがい とくせい おう ていねい たいおう げんじょう
いろんな障害の特性に応じた丁寧な対応ができないのが現状みただし。

まきぐち むかい なに くふう
牧口：向井さんは何か工夫ありますか？

むかい なんねん まえ にゆういん じぶん し びょういん
向井：何年か前に入院はあったが、自分のことを知ってもらってる病院なので
もんだい じょうきょう じぶん とうねつ で
問題なかった。コロナ状況でもなかったし、高熱も出なかったの。

まきぐち こえ だ ち
牧口：声が出せたら、わめき散らすことができるかな…。

きたぐち
北口さんは、それができなかった。

よ な みね しゃかい りかい もと こじん
與那嶺：社会の理解も求めつつ、個人でできることをするしかないですね。

まきぐち と み かぎ びょういんがわ なに き
牧口：このやり取りを見ている限り病院側は何かに気がついているわけでもない。

なかえ ちりょう いのち たす じょうたい びょういん ぎもん かん
中江：コロナの治療で命を助けている状態なので、病院は疑問すら感じていなか
ったのではないだろうか。

まきぐち と き し かた はんせいざいりょう きょうゆう
牧口：その時は仕方なかったかもしれないが、反省材料として共有してほしい。

かさハラ じょうきょう にゆういんちゆう な ゆきお ゆうじん そうとう
笠原：コロナ状況で入院中に亡くなった幸男さんの友人も相当しんどかったと
おも ひと ぶん たたか
思います。その人の分も戦ってほしい。

きたぐち
北口：・・・

まきぐち きたぐち ぐち か
牧口：トーキングエイドに『北口の口』って書いてくとか。

ふくしま きたぐち こじん ごと ほうこくぶんしょう そうかい
福島：北口さん個人だけの事ではないので、この報告文章は総会のまとめのすたこ
らさんに掲載します。この場でのみなさんの意見も掲載させていただきます。

まきぐち ひと つた こと つた おお こりつかん
牧口：人に伝えたい事が伝わらないことほど、そんな大きな孤立感はない。めげて
しまう。

いとう わたし せんしゅう げつようび かいだん たつきゅう つた
伊東：私は先週の月曜日に階段でこけて脱臼したんやけど、なかなか伝わらな
った。

きたぐち きゆうきゆうしゃ きたのびょういん じぶん ひと つた
北口：救急車から北野病院に自分がどうい人か伝わってるはず。

なかえ にんしき も びょういんがわ いそが しかた
中江：認識持ってなかったら、病院側も忙しいので仕方がない。

まきぐち じ こしちゅう いのち まも きき かん も じぶん
牧口：自己主張しかない。命を守るために危機感を持って自分でできることをや
るしかない。

きこう
寄稿

おおさかし きほんこうそう うご だ 大阪市のバリアフリー基本構想が動き出した！

ねんど ねんど おお とし
—2023年度～2024年度は大きなチャンス的一年—

がつ にち だい かいおおさかしこうつう きほんこうそうすいしんきょうぎかい ひら かいめ
6月21日、第5回大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会が開かれた。1回目は
さくねん がつ かい かいめ ひこうかい きほんこうそう ねん せいりつ こうつう
昨年9月だったが、2回から4回目までは非公開。基本構想は2000年に成立した交通バ
りャフリー法に基づき、駅を中心とした重点地区を設定し、その地区全体のバリアフ
りャ化を進める具体的な計画を関係する事業者や障害者、関係者が集まってつくりあ
げるもの。2003年～2006年にかけて大阪府は25地区での基本計画を作成し、障害者も
たすうさんか けんとうかいぎ ひら とうじ ぜんこく
多数参加して「まちあるき」、検討会議も開かれました。当時は全国トップクラスのスピ
ードと量でした。ただ本来、継続して見直すことが重要で少なくとも5年ごとの見直
しが必要なのですが、大阪府は2007年以降、動きが止まりました。国の法律では2006年
にハートビル法（建物など）と交通バリアフリー法を統合し、バリアフリー法となり、
きほんこうそう えき せいかつかんれんしせつ ちゅうしん ちくせつてい かのう きほんこうそう
基本構想も駅だけでなく、生活関連施設を中心にした地区設定も可能になり、基本構想
をつく しぜんたい きほんほうしん
を作ったうえで、市全体の基本方針であるマスタープランを作ることも推奨されました。
し うご
が、市は動かず。

でもついに昨年度、市が重い腰を上げました。これは2025年万博の動きも関係してい
ます。当初、万博協会（府、市が中心で構成）は障害者の意見をまったく聞かずにユ
ニバーサルデザインを作ろうとしましたが、さすがに国全体の流れにも逆行しているこ
とから、見直され、大急ぎで様々な障害者委員を入れて見直しをしました。3年前
おおさかし ばんぼく このはなくちょう たんとう かいとう まえむ
大阪府は「万博のバリアフリーは此花区長が担当する」と回答していましたが、前向き
しせい か
な姿勢に変わってきています。

●昨年からは大阪市レベルでの検討。次はいよいよ25地区ごとの見直しが始まる。

具体的な地区名とスケジュールはホームページでも見られますが、当初より2か月程度は遅れると思われます。6月の会議自体が1か月延期して開催されたのですが、6月21日の資料では各区の検討委員の選出が6月となっていました。7月下旬の時点でも各区の動きはまだないようです。ただ動きだせば早いかもしれません。

●各地区の見直しは、あつという間に始まって、あつという間に終わるかもしれない。

*25地区は、天王寺・阿倍野、新大阪、梅田、難波、京橋のターミナル地区とそれ以外の地区で検討の仕方が分かれます。ターミナル駅は市が直轄、あとは各区が主体となります。ターミナル駅では最初に行政側が出してくる計画(変更原案)があり、修正された原案2を検討する会議がありますが、ターミナル駅地区以外ではありません。一応、ワークショップが4回とされていますが、2回目は「まちあるき」、1回目と2回目が同日開催もありなので、実質の会議は3回目だけになるかもしれません。

*もともになるのは20年前の基本構想です。その間、特にターミナル地区は大きく変わっています。梅田ではヨドバシカメラはできたばかり、グランフロントなどは無し。阿倍野も今の歩道橋、キューズモールやハルカスはありません。そんな時代に作ったものを見直すこと自体に無理があるのですが、今回の見直しでは、最初に見直し原案が出されるようです。つまり、行政の動きを待って、出された変更原案を見てから考えて、対案を出す、では手遅れになりかねません。

●誰が見直し議論に参加できるのか。

*参加できるのは「各区における関連団体の代表」とあり、具体的にはこれから調整です。市レベルではかなり限定された障害者委員(既存の大きな団体)のみだったので車いす利用者などは入っていません(9月からは2名追加予定)

げんざい く しやうがいしやきかんそうだんしえん
 * 現在、25区には障害者基幹相談支援センターがあり、24区のうち 12区は障大連加盟
 だんたい ひ く しやうがいしや じぎやうしや れんけい つく
 団体です。日ごろから区の障害者や事業者との連携を作っています。バリアフリーに
 かん と く おお
 関しては取り組まれていない区も多いのですが、バリアフリーについて経験、意見を持つ
 しやうがいしや ふか きかんそうだんしえん かんれんだんたい いいん はい
 障害者とのつながりは深いので、基幹相談支援センターが関連団体として、委員に入れ
 くたいてき けんとう すす おも
 れば具体的な検討も進むと思います。

●具体的な大阪市25地区の見直しスケジュールは？ 市の案が2か月ずれると想定して…

* ターミナル駅 (天王寺・阿倍野、新大阪)

メンバー選定 8月～ ⇒ワークショップ 10月～ ⇒まちあるき 11月～

* ターミナル駅 (梅田、難波、京橋)

メンバー選定 12月～ ⇒ワークショップ 来年2月～ ⇒まちあるき 来年4月～

* その他地区 (御幣島、我孫子町、大正、住之江公園)

メンバー選定 8月～ ⇒ワークショップ 10月～ ⇒まちあるき 11月～

* その他地区 (鶴橋、新今宮、放出)

メンバー選定 12月～ ⇒ワークショップ 来年2月～ ⇒まちあるき 来年4月～

* その他地区 (南森町～淀屋橋、日本橋～谷町9丁目、弁天町、コスモスクエア)

海老江、野田阪神、西九条、関目、喜連瓜破、駒川中野)

メンバー選定 来年8月～ ⇒ワークショップ 来年10月～ ⇒まちあるき 来年11月～

●私たち側での「まちあるき」をしよう！！

以下の日程でまちあるきを予定しています。

* 天王寺・阿倍野	☞	8月9日(水)、23日(水)
* 新大阪	☞	8月10日(水)、17日(水)
* 難波	☞	10月ごろ (9月20日交通部会で調整)
* 梅田	☞	11月ごろ (9月20日交通部会で調整)

●交通バリアフリーアドバイザー講座

・昨年度は2003年当時の基本構想作成にもかかわった専門家の話も学習し、京橋駅周辺のみちあるきも行いました。今年度も10月ごろから開催予定で準備中です。

●まちあるきのポイント&基本構想の見直しで訴えたいこと

- ・設計施工の段階で障害者の意見が反映されていけば、もっと使いやすくバリアフリーになっているのに、と残念に思うことがたくさんあります。梅田では今でもどンドン街が大きく変わっていますが、JR大阪駅の南側と北側の行き来は簡単ではありません。地下街は迷路のようです。あべの歩道橋は以前よりはバリアフリーになりましたが、JR側のビル・ミオとはつながっていません。歩道橋の東西南北のEVの場所も初めての人には分かりにくい。JR天王寺駅から地下鉄谷町線へのバリアフリールートはまずわからない。こんなに人が多い場所なのになぜ11人乗りの小さいエレベーターという箇所もたくさんあります。課題はたくさんあり、人によっても違いますが、例えば以下のような点に力を入れたいと思います。
- ・「(ターミナル駅では) 乗り換え案内表示が分かりやすいか、特に他社線乗り換えのバリアフリー案内があるか。バスへの乗り換えが分かりやすい(主に表示サインの改善)」「点字ブロックの敷設は適切か(ちゃんとつながっているか)」「歩道の段差は適切か(2cmを超えている箇所はないか)」「バリアフリートイレの設置や案内は適切か(何大人用ベッドがあるか、表示はあるか)」「エレベーターのサイズや案内は適切か(何行きか表示があるか)」「主要な観光地、目的地への案内は分かりやすいか」など。
- ・まちあるきをする時には、慣れてる人の目線だけでなく、初めてその場所に来た人が分かりやすいかが重要です。EVの場所、バリアフリールートが分からないのは、その人が悪いのではなく、案内表示が分かりにくいからです。また同じ車いす利用者でも電動、手動、前輪の大きさなどによって出てくる課題が違ってきます。他の障害でも

どうよう たよう しょうがいしゃ さんか たよう してん さんか
 同様です。多様な障害者の参加、多様な視点で参加しましょう。

●「なんばバリアフリートイレマップ」を作っています。

ねん いちどつく じかん た ふる せんにちまえ
 2016年に一度作っていますが、かなり時間が経ってデータも古くなったので、千日前
 しょうてんがい ようせい つく なお げんざいちょうさちゆう さいきん
 商店街などからの要請もあり、作り直します。現在調査中です。最近できたバリアフ
 リートイレなのに、「ドアが止まらず車いす単独では入れない」「鏡の高さが120セン
 ち以上で車いすから見えない」トイレがたくさんあることもわかりました。この辺りも
 いじょう くるま み な えいきょう けんじょうしやめせん
 基本構想の見直しが長らく無かったことが影響しています。健全者目線のバリアフリ
 せつび ざんねん
 一設備になっています。残念！

エヌピーオー いしだよしのり
 (NPOちゅうぶ・石田義典)

図紙3 各地区構想 検討の進め方（ワークショップ実施の概要）

① 基本検討工程
 ワークショップは、基本構想の変更原案※1に対し、関係団体（関係者からの推薦団体を含む）の
 代表者から広く意見を聴くための場として開催。事後協議会上に、構想変更原案の意見聴取等を行
 いながら実施する。



ワークショップ（検討会議やまちあるき）をやる前
 から「変更原案」はもう作られている。
 役所の方で、何を見直すか（見直さないか）をみ
 んなの意見を聞く前に決めてる可能性あり！

※3「同日開催あり」とある。午前：会
 議⇒午後：まちあるき。1日だけであっ
 という間に終わってしまう可能性大！

ターミナル駅（梅田、難波、新大阪、京橋、天
 王寺阿倍野）以外は、2回目の変更（会議な
 ど）はない。つまり、まちあるきの後に意見を言
 う場はパブコメだけ！？

※1 構想変更原案の作成は、行政を主とする。関係者（区役所、財団関係者及び事業者）
 で随時行う連絡・協議の場である地区ワーキングで行う。
 ※2 ワークショップメンバーへの報酬無し
 ※3 地区の要望に応じて、現行開催することも可能（ワークショップのメンバーとなる推薦者及び社
 会員の意見と調整による）
 ※4 第4回ワークショップは、パブコメ意見の内容・発案により、必要に応じて開催
 ※5 事後協議会の開催形式としては、全て公開とする。

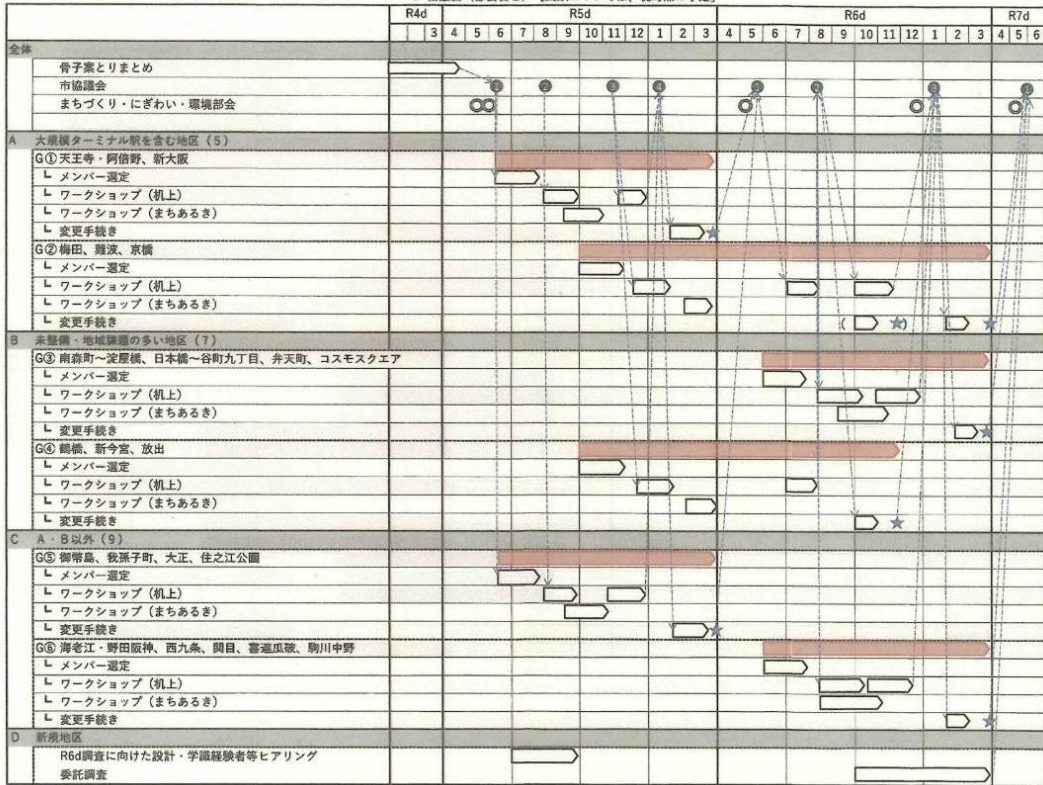
KSKすたこらさん

別紙4 各地区基本構想変更スケジュール（全体）（予定）

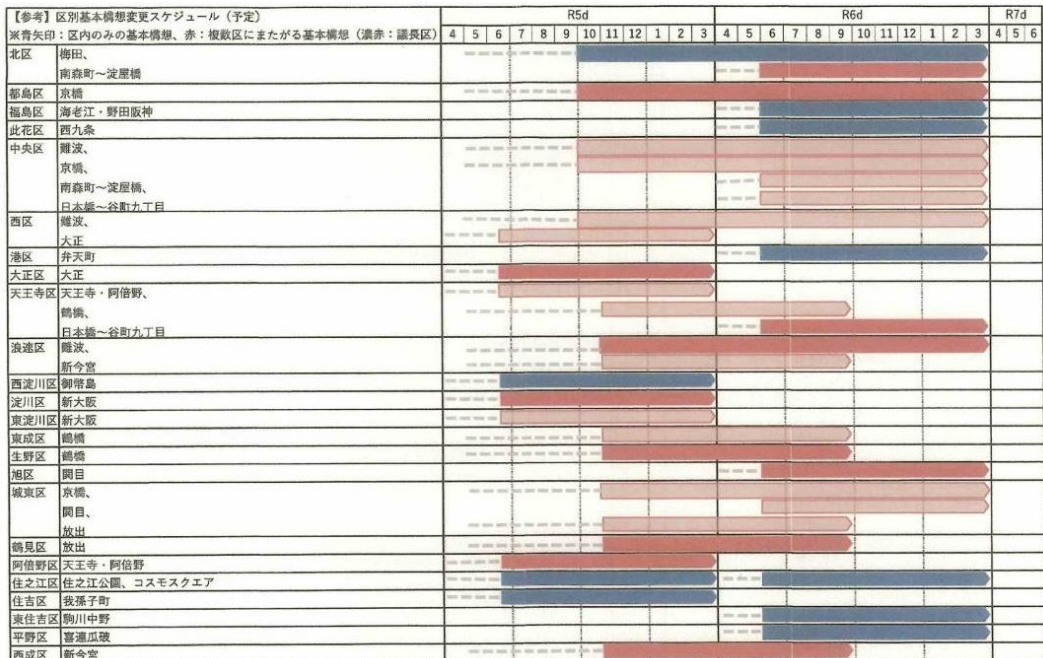
凡例

○ まちづくり・にぎわい・環境部会

● 協議会（部会含む）【回数については、現時点の予定】



7



代表あいさつ

みなさん、ご苦労さん。
健康に気をつけて元気ががんばって！
困った事があったら私に言うて下さい。
直接に言うて。電話でも言うてや！

ありがとうございました

2023年4月1日～6月30日

● 正会員

しもだ かずや
下田 一也
かんだ こうじ
神田 孝次
まきぐち いちじ
牧口 一二
やながわ ふくみ
柳川 福美

しもだ あいこ
下田 亜意子
なかえ こうすけ
中江 浩祐
きったか ちあき
橘高 千秋

とだ しゅんじろう
戸田 俊二郎
ささき やすゆき
佐々木 康至
つじ いくこ
辻 郁子

いとう ふみえ
伊東 史恵
かさハラ ゆきえ
笠原 由紀恵
ふくしま よしひろ
福島 義弘

● 応援者会員

こばやし ようこ
小林 陽子

かみたに のぶよし
紙谷 信義

いとう やすこ
伊藤 安子

● 声援者会員

たなか みちこ
田中美智子

やまもと ともこ
山元 倫子

やまだ
山田かおり

● 購読者会員

よねざわ そのこ
米澤 園子

はまだ こうぞう
濱田 浩三



WANTED
 まず、
 参加
 ください！
 障害者と応援者・声援者の出会いを
 つくろう

誰でも、
 どんな形でも：

参加してください。きつと、すばらしい出会いが待っていますよ。

● 障害者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 応援者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 声援者 II 「応援センター」の趣旨に共鳴してくださる方は、活動をバックアップするため毎月1口500円を末長くご協力ください。できれば2口お願いします。

● 団体声援者 II 各種団体や会社で「応援センター」に資金援助してくださるグループを求めています。年間1口3万円。もちろん、何口でも多いほどうれしいです。()

● 一時的カンパ II もちろん大歓迎！

● すたこらさん購読者 II 遠方の方(近くの方も)で応援センターの

活動状況やいろいろな情報を知りたい方は購読者として参加してください。

年会費 二、〇〇〇円です。

グループとして購読してくださる方々も大歓迎。

1月10部発送で年会費 一八、〇〇〇円です。

※ 障害者、応援者、声援者の各会費に本誌すたこらさん購読料が含まれています。また会費以外で当センターへの寄付金・カンパをいただいたみなさまに本誌をお届けしています。



もくじ

《KSKすたこらさん 2023夏》

1. 2022年度の活動報告	ねんど	かつどうほうこく	事務局	1
2. 2023年度の事業計画	ねんど	じぎょうけいかく	事務局	36
3. 決算報告 & 予算計画	けっさんほうこく	よきんけいかく	事務局	37
4. 応援センター趣意書	おうえん	しゆいしょ	事務局	52
5. 応援センター組織体制	おうえん	そしきたいせい	事務局	56
6. 議案外の報告 入院時対応について	ぎあんがい	ほうこく にゆういんじたいおう	事務局	57
7. 大阪市のバリアフリー基本構想が動き出した！	おおさかし	きほんこうそう うごだ	石田 義典	61
8. 代表あいさつ	だいひょう		事務局	
9. ありがとうございます			事務局	

編集人 特定非営利活動法人
 おおさか行動する障害者応援センター
 〒530-0035 大阪市北区同心2丁目6-13
 エミネントヤナセ101
 電話 06-6357-5797 FAX 06-7504-6192

発行人 関西障害者定期刊行物協会
 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2
 東興ビル4階
 電話/FAX 06-6763-3338